

様式1-1

大学等名	大妻女子大学
プログラム名	大妻データサイエンス・AIプログラム

プログラムを構成する授業科目について

① 教育プログラムの修了要件

学部・学科によって、修了要件は相違する

② 対象となる学部・学科名称

家政学部・文学部・人間関係学部・比較文化学部

③ 修了要件

次の2科目4単位の単位修得をプログラムの修了要件とする。
 全学共通科目:「データサイエンス・AI概論」「コンピュータ基礎B」

必要最低科目数・単位数 科目 単位 履修必須の有無

④ 現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-1	1-6	授業科目	単位数	必須	1-1	1-6
データサイエンス・AI概論	2	○	○	○					

⑤ 「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-2	1-3	授業科目	単位数	必須	1-2	1-3
データサイエンス・AI概論	2	○	○	○					

⑥ 「様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-4	1-5	授業科目	単位数	必須	1-4	1-5
データサイエンス・AI概論	2	○	○	○					

⑦ 「活用に当たっての様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	3-1	3-2	授業科目	単位数	必須	3-1	3-2
データサイエンス・AI概論	2	○	○	○					

⑧「実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3	授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3
コンピュータ基礎B	2	○	○	○	○						

⑨ 選択「4. オプション」の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目

⑩ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素		講義内容
(1) 現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている	1-1	・人間の知的活動とAIの関係性「データサイエンス・AI概論」(第1回) ・データを起点としたものの見方、人間の知的活動を起点としたものの見方「データサイエンス・AI概論」(第15回)
	1-6	・AI等を活用した新しいビジネスモデル(シェアリングエコノミー、商品のレコメンデーションなど)「データサイエンス・AI概論」(第1回、第11回、第15回) ・AI最新技術の活用例(深層生成モデル、敵対的生成ネットワーク、強化学習、転移学習など)「データサイエンス・AI概論」(第11回)
(2) 「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの	1-2	・調査データ、実験データ、人の行動ログデータ、機械の稼働ログデータなど「データサイエンス・AI概論」(第2～4回、第8回) ・構造化データ、非構造化データ(文章、画像/動画、音声/音楽など)「データサイエンス・AI概論」(第6回) ・データのオープン化(オープンデータ)「データサイエンス・AI概論」(第5回)
	1-3	・データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)「データサイエンス・AI概論」(第2回、第7回、第15回) ・研究開発、調達、製造、物流、販売、マーケティング、サービスなど「データサイエンス・AI概論」(第5回) ・仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替、新規生成など「データサイエンス・AI概論」(第4回)
(3) 様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの	1-4	・データ解析: 予測、グルーピング、パターン発見、最適化、シミュレーション・データ同化など「データサイエンス・AI概論」(第8回～第12回) ・非構造化データ処理: 言語処理、画像/動画処理、音声/音楽処理など「データサイエンス・AI概論」(第6回、第7回) ・認識技術、ルールベース、自動化技術「データサイエンス・AI概論」(第8回)
	1-5	・流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI利活用事例紹介「データサイエンス・AI概論」(第8回～第12回) ・データサイエンスのサイクル(課題抽出と定式化、データの取得・管理・加工、探索的データ解析、データ解析と推論、結果の共有・伝達、課題解決に向けた提案)「データサイエンス・AI概論」(第4回)

(4) 活用に当たっての様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする	3-1	・ELSI(Ethical, Legal and Social Issues)「データサイエンス・AI概論」(第13回) ・個人情報保護、EU一般データ保護規則(GDPR)、忘れられる権利、オプトアウト「データサイエンス・AI概論」(第11回、第13回) ・データ倫理: データのねつ造、改ざん、盗用、プライバシー保護「データサイエンス・AI概論」(第13回) ・AI社会原則(公平性、説明責任、透明性、人間中心の判断)「データサイエンス・AI概論」(第15回) ・AIサービスの責任論「データサイエンス・AI概論」(第13回)
	3-2	・情報セキュリティ: 機密性、完全性、可用性「データサイエンス・AI概論」(第14回) ・匿名加工情報、暗号化、パスワード、悪意ある情報搾取「データサイエンス・AI概論」(第14回) ・情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介「データサイエンス・AI概論」(第14回)
(5) 実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの	2-1	・データの種類(量的変数、質的変数)「コンピュータ基礎B」(第1回) ・データの分布(ヒストグラム)と代表値(平均値、中央値、最頻値)「コンピュータ基礎B」(第3回) ・代表値の性質の違い(実社会では平均値=最頻値でないことが多い)「コンピュータ基礎B」(第3回)
	2-2	・データ表現(棒グラフ、折れ線グラフ、散布図、ヒートマップ)「コンピュータ基礎B」(第5回～第7回) ・データの図表表現「コンピュータ基礎B」(第5回～第7回)
	2-3	・データの集計(和、平均)「コンピュータ基礎B」(第3回) ・データの並び替え、ランキング「コンピュータ基礎B」(第4回、第7回、第10回～第13回) ・データ解析ツール(スプレッドシート)「コンピュータ基礎B」(第1回) ・表形式のデータ(csv)「コンピュータ基礎B」(第1回)

⑪ プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

- ・データサイエンスやAIが身近にあるさまざまな事象とどのように関係しているかを学び、それらを活用することの楽しさや学ぶ意義について理解する。
- ・データサイエンス・AIを活用する上での留意事項や情報セキュリティ、情報漏洩等、データを守る上での留意事項を理解する。
- ・社会における実データを含む多くのデータから、必要とする情報を抽出するスキルを身につける。
- ・抽出結果を読み解き、それら情報の関係を分析、考察し表現できる力を身につける。

【参考】

⑫ 生成AIに関連する授業内容 ※該当がある場合に記載

教育プログラムを構成する科目に、「数理・データサイエンス・AI(リテラシーレベル)モデルカリキュラム改訂版」(2024年2月 数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム)において追加された生成AIに関連するスキルセットの内容を含む授業(授業内で活用事例などを取り上げる、実際に使用してみるなど)がある場合に、どの科目でどのような授業をどのように実施しているかを記載してください。

※本項目は各大学の実践例を参考に何うものであり、認定要件とはなりません。

講義内容

大学等名	大妻女子大学
プログラム名	大妻データサイエンス・AIプログラム

プログラムを構成する授業科目について

① 教育プログラムの修了要件

学部・学科によって、修了要件は相違する

② 対象となる学部・学科名称

社会情報学部社会情報学科社会生活情報学専攻・環境情報学専攻

③ 修了要件

次の2科目4単位の単位修得をプログラムの修了要件とする。

全学共通科目:「データサイエンス・AI概論」
社会情報学部学部共通科目:「情報処理実習B」

必要最低科目数・単位数 科目 単位 履修必須の有無

④ 現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-1	1-6	授業科目	単位数	必須	1-1	1-6
データサイエンス・AI概論	2	○	○	○					

⑤ 「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-2	1-3	授業科目	単位数	必須	1-2	1-3
データサイエンス・AI概論	2	○	○	○					

⑥ 「様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-4	1-5	授業科目	単位数	必須	1-4	1-5
データサイエンス・AI概論	2	○	○	○					

⑦ 「活用に当たっての様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	3-1	3-2	授業科目	単位数	必須	3-1	3-2
データサイエンス・AI概論	2	○	○	○					

⑧「実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3	授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3
情報処理実習B	2	○	○	○	○						

⑨ 選択「4. オプション」の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目

⑩ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素		講義内容
(1)現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている	1-1	・人間の知的活動とAIの関係性「データサイエンス・AI概論」(第1回) ・データを起点としたものの見方、人間の知的活動を起点としたものの見方「データサイエンス・AI概論」(第15回)
	1-6	・AI等を活用した新しいビジネスモデル(シェアリングエコノミー、商品のレコメンデーションなど)「データサイエンス・AI概論」(第1回、第11回、第15回) ・AI最新技術の活用例(深層生成モデル、敵対的生成ネットワーク、強化学習、転移学習など)「データサイエンス・AI概論」(第11回)
(2)「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの	1-2	・調査データ、実験データ、人の行動ログデータ、機械の稼働ログデータなど「データサイエンス・AI概論」(第2～4回、第8回) ・構造化データ、非構造化データ(文章、画像/動画、音声/音楽など)「データサイエンス・AI概論」(第6回) ・データのオープン化(オープンデータ)「データサイエンス・AI概論」(第5回)
	1-3	・データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)「データサイエンス・AI概論」(第2回、第7回、第15回) ・研究開発、調達、製造、物流、販売、マーケティング、サービスなど「データサイエンス・AI概論」(第5回) ・仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替、新規生成など「データサイエンス・AI概論」(第4回)
(3)様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの	1-4	・データ解析:予測、グルーピング、パターン発見、最適化、シミュレーション・データ同化など「データサイエンス・AI概論」(第8回～第12回) ・非構造化データ処理:言語処理、画像/動画処理、音声/音楽処理など「データサイエンス・AI概論」(第6回、第7回) ・認識技術、ルールベース、自動化技術「データサイエンス・AI概論」(第8回)
	1-5	・流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI利活用事例紹介「データサイエンス・AI概論」(第8回～第12回) ・データサイエンスのサイクル(課題抽出と定式化、データの取得・管理・加工、探索的データ解析、データ解析と推論、結果の共有・伝達、課題解決に向けた提案)「データサイエンス・AI概論」(第4回)

(4) 活用に当たっての様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする	3-1	・ELSI(Ethical, Legal and Social Issues)「データサイエンス・AI概論」(第13回) ・個人情報保護、EU一般データ保護規則(GDPR)、忘れられる権利、オプトアウト「データサイエンス・AI概論」(第11回、第13回) ・データ倫理: データのねつ造、改ざん、盗用、プライバシー保護「データサイエンス・AI概論」(第13回) ・AI社会原則(公平性、説明責任、透明性、人間中心の判断)「データサイエンス・AI概論」(第15回) ・AIサービスの責任論「データサイエンス・AI概論」(第13回)
	3-2	・情報セキュリティ: 機密性、完全性、可用性「データサイエンス・AI概論」(第14回) ・匿名加工情報、暗号化、パスワード、悪意ある情報搾取「データサイエンス・AI概論」(第14回) ・情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介「データサイエンス・AI概論」(第14回)
(5) 実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用方法に関するもの	2-1	・データの種類(量的変数、質的変数)「情報処理実習B」(第11回、第12回) ・データの分布(ヒストグラム)と代表値(平均値、中央値、最頻値)「情報処理実習B」(第11回、第12回) ・代表値の性質の違い(実社会では平均値=最頻値でないことが多い)「情報処理実習B」(第11回、第12回) ・データのばらつき(分散、標準偏差、偏差値)「情報処理実習B」(第11回、第12回) ・クロス集計表、分割表、相関係数行列、散布図行列「情報処理実習B」(第8回、第9回)
	2-2	・データ表現(棒グラフ、折れ線グラフ、散布図、ヒートマップ)「情報処理実習B」(第5回～第8回) ・データの図表表現「情報処理実習B」(第5回～第8回)
	2-3	・データの集計(和、平均)「情報処理実習B」(第9回、第10回) ・データの並び替え、ランキング「情報処理実習B」(第9回、第10回) ・データ解析ツール(スプレッドシート)「情報処理実習B」(第5回) ・表形式のデータ(csv)「情報処理実習B」(第5回)

⑪ プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

- ・データサイエンスやAIが身近にあるさまざまな事象とどのように関係しているかを学び、それらを活用することの楽しさや学ぶ意義について理解する。
- ・データサイエンス・AIを活用する上での留意事項や情報セキュリティ、情報漏洩等、データを守る上での留意事項を理解する。
- ・社会における実データを含む多くのデータから、必要とする情報を抽出するスキルを身につける。
- ・抽出結果を読み解き、それら情報の関係を分析、考察し表現できる力を身につける。

【参考】

⑫ 生成AIに関連する授業内容 ※該当がある場合に記載

教育プログラムを構成する科目に、「数理・データサイエンス・AI(リテラシーレベル)モデルカリキュラム改訂版」(2024年2月 数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム)において追加された生成AIに関連するスキルセットの内容を含む授業(授業内で活用事例などを取り上げる、実際に使用してみるなど)がある場合に、どの科目でどのような授業をどのように実施しているかを記載してください。

※本項目は各大学の実践例を参考に何うものであり、認定要件とはなりません。

講義内容

大学等名	大妻女子大学
プログラム名	大妻データサイエンス・AIプログラム

プログラムを構成する授業科目について

① 教育プログラムの修了要件

学部・学科によって、修了要件は相違する

② 対象となる学部・学科名称

社会情報学部社会情報学科情報デザイン専攻

③ 修了要件

次の2科目4単位の単位修得をプログラムの修了要件とする。

全学共通科目:「データサイエンス・AI概論」
社会情報学部学部共通科目:「情報処理実習A」

必要最低科目数・単位数 科目 単位 履修必須の有無

④ 現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-1	1-6	授業科目	単位数	必須	1-1	1-6
データサイエンス・AI概論	2	○	○	○					

⑤ 「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-2	1-3	授業科目	単位数	必須	1-2	1-3
データサイエンス・AI概論	2	○	○	○					

⑥ 「様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-4	1-5	授業科目	単位数	必須	1-4	1-5
データサイエンス・AI概論	2	○	○	○					

⑦ 「活用に当たっての様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	3-1	3-2	授業科目	単位数	必須	3-1	3-2
データサイエンス・AI概論	2	○	○	○					

⑧「実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3	授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3
情報処理実習A	2	○	○	○	○						

⑨ 選択「4. オプション」の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目

⑩ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素		講義内容
(1)現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている	1-1	・人間の知的活動とAIの関係性「データサイエンス・AI概論」(第1回) ・データを起点としたものの見方、人間の知的活動を起点としたものの見方「データサイエンス・AI概論」(第15回)
	1-6	・AI等を活用した新しいビジネスモデル(シェアリングエコノミー、商品のレコメンデーションなど)「データサイエンス・AI概論」(第1回、第11回、第15回) ・AI最新技術の活用例(深層生成モデル、敵対的生成ネットワーク、強化学習、転移学習など)「データサイエンス・AI概論」(第11回)
(2)「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの	1-2	・調査データ、実験データ、人の行動ログデータ、機械の稼働ログデータなど「データサイエンス・AI概論」(第2～4回、第8回) ・構造化データ、非構造化データ(文章、画像/動画、音声/音楽など)「データサイエンス・AI概論」(第6回) ・データのオープン化(オープンデータ)「データサイエンス・AI概論」(第5回)
	1-3	・データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)「データサイエンス・AI概論」(第2回、第7回、第15回) ・研究開発、調達、製造、物流、販売、マーケティング、サービスなど「データサイエンス・AI概論」(第5回) ・仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替、新規生成など「データサイエンス・AI概論」(第4回)
(3)様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの	1-4	・データ解析:予測、グルーピング、パターン発見、最適化、シミュレーション・データ同化など「データサイエンス・AI概論」(第8回～第12回) ・非構造化データ処理:言語処理、画像/動画処理、音声/音楽処理など「データサイエンス・AI概論」(第6回、第7回) ・認識技術、ルールベース、自動化技術「データサイエンス・AI概論」(第8回)
	1-5	・流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI利活用事例紹介「データサイエンス・AI概論」(第8回～第12回) ・データサイエンスのサイクル(課題抽出と定式化、データの取得・管理・加工、探索的データ解析、データ解析と推論、結果の共有・伝達、課題解決に向けた提案)「データサイエンス・AI概論」(第4回)

(4) 活用に当たっての様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする	3-1	・ELSI(Ethical, Legal and Social Issues)「データサイエンス・AI概論」(第13回) ・個人情報保護、EU一般データ保護規則(GDPR)、忘れられる権利、オプトアウト「データサイエンス・AI概論」(第11回、第13回) ・データ倫理: データのねつ造、改ざん、盗用、プライバシー保護「データサイエンス・AI概論」(第13回) ・AI社会原則(公平性、説明責任、透明性、人間中心の判断)「データサイエンス・AI概論」(第15回) ・AIサービスの責任論「データサイエンス・AI概論」(第13回)
	3-2	・情報セキュリティ: 機密性、完全性、可用性「データサイエンス・AI概論」(第14回) ・匿名加工情報、暗号化、パスワード、悪意ある情報搾取「データサイエンス・AI概論」(第14回) ・情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介「データサイエンス・AI概論」(第14回)
(5) 実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの	2-1	・データの種類(量的変数、質的変数)「情報処理実習A」(第12回、第13回) ・データの分布(ヒストグラム)と代表値(平均値、中央値、最頻値)「情報処理実習A」(第12回、第13回) ・代表値の性質の違い(実社会では平均値=最頻値でないことが多い)「情報処理実習A」(第12回、第13回) ・データのばらつき(分散、標準偏差、偏差値)「情報処理実習A」(第12回、第13回)
	2-2	・データ表現(棒グラフ、折れ線グラフ、散布図、ヒートマップ)「情報処理実習A」(第10回、第11回) ・データの図表表現「情報処理実習A」(第10回、第11回)
	2-3	・データの集計(和、平均)「情報処理実習A」(第8回、第9回) ・データの並び替え、ランキング「情報処理実習A」(第8回、第9回) ・データ解析ツール(スプレッドシート)「情報処理実習A」(第8回) ・表形式のデータ(csv)「情報処理実習A」(第8回)

⑪ プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

- ・データサイエンスやAIが身近にあるさまざまな事象とどのように関係しているかを学び、それらを活用することの楽しさや学ぶ意義について理解する。
- ・データサイエンス・AIを活用する上での留意事項や情報セキュリティ、情報漏洩等、データを守る上での留意事項を理解する。
- ・社会における実データを含む多くのデータから、必要とする情報を抽出するスキルを身につける。
- ・抽出結果を読み解き、それら情報の関係を分析、考察し表現できる力を身につける。

【参考】

⑫ 生成AIに関連する授業内容 ※該当がある場合に記載

教育プログラムを構成する科目に、「数理・データサイエンス・AI(リテラシーレベル)モデルカリキュラム改訂版」(2024年2月 数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム)において追加された生成AIに関連するスキルセットの内容を含む授業(授業内で活用事例などを取り上げる、実際に使用してみるなど)がある場合に、どの科目でどのような授業をどのように実施しているかを記載してください。

※本項目は各大学の実践例を参考に何うものであり、認定要件とはなりません。

講義内容

プログラムの履修者数等の実績について

①プログラム開設年度 令和5 年度

②大学等全体の男女別学生数 男性 0 人 女性 6650 人 (合計 6650 人)

③履修者・修了者の実績

学部・学科名称	学生数	入学 定員	収容 定員	令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		令和元年度		平成30年度		履修者数 合計	履修率
				履修者数	修了者数	履修者数	修了者数	履修者数	修了者数	履修者数	修了者数	履修者数	修了者数	履修者数	修了者数		
家政学部	2,072	490	1998	13	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	1%
文学部	1,512	360	1482	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0%
社会情報学部	1,259	300	1230	87	78	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	87	7%
人間関係学部	1,111	260	1060	19	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	2%
比較文化学部	696	165	670	12	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	2%
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
合 計	6,650	1,575	6,440	132	113	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	132	2%

大学等名 大妻女子大学

教育の質・履修者数を向上させるための体制・計画について

① 全学の教員数 (常勤) 239 人 (非常勤) 499 人

② プログラムの授業を教えている教員数 23 人

③ プログラムの運営責任者

(責任者名) 山倉 健嗣

(役職名) 副学長(教育担当)

④ プログラムを改善・進化させるための体制(委員会・組織等)

情報リテラシー教育検討部会

(責任者名) 山倉 健嗣

(役職名) 部会長

⑤ プログラムを改善・進化させるための体制を定める規則名称

情報リテラシー教育検討部会内規

⑥ 体制の目的

部会は、大妻女子大学全学共通科目調整委員会(以下「調整委員会」という。)の運営方針に基づき、次の各号に掲げる事項に関する業務を行う。

- (1) 全学共通科目の基礎科目区分Ⅱリテラシーのうち、情報リテラシー科目の企画・運営・人事等に関する事項
- (2) 大妻データサイエンス・AIプログラムの自己点検・評価および改善に関する事項
- (3) 部会内規の改廃に関する事項
- (4) その他、調整委員会委員長からの依頼事項

⑦ 具体的な構成員

部会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 調整委員会委員長の指名する専任教員 若干名
 - ・山倉 健嗣 全学共通科目調整委員会委員長・副学長(教育担当)／部会長
 - ・市川 博 家政学部ライフデザイン学科教授
 - ・小野 茂 社会情報学部社会情報学科教授
 - ・八城 薫 人間関係学部人間関係学科教授
 - ・豊田 雄彦 短期大学部家政科教授
 - (2) 安倍 達哉 教育支援センター部長
 - (3) 西田 裕貴 教育支援グループ課長
 - (4) 榎渕 富士子 メディア教育開発グループ課長
 - (5) その他部会長の推薦する者 若干名
- R5は推薦者なし。

⑧ 履修者数・履修率の向上に向けた計画 ※様式1の「履修必須の有無」で「計画がある」としている場合は詳細について記載すること

令和5年度実績	2%	令和6年度予定	2%	令和7年度予定	3%
令和8年度予定	4%	令和9年度予定	5%	収容定員(名)	6,440
具体的な計画					
プログラムの科目はすべて配当年次が1年次のため、入学前に配付する冊子『新入生案内』に大妻データサイエンス・AIプログラムの案内を掲載するとともに、4月の履修登録時に行われるクラス別ガイダンスにおいても、クラス指導主任から『履修登録の手引き』を通して、このプログラムを履修することの利点を説明している。また、プログラム修了者アンケートの結果は、HPで公表し、プログラム履修への意欲向上を図っている。 さらに本プログラムの修了者には修了証をオープンバッジで発行し、学習歴のデジタル化にも対応している。その他、プログラムに関係する科目のうち、共通科目である「データサイエンス・AI概論」は、後期のオンデマンド科目として配置することで、前期履修登録の結果、上限人数に満たないコマについては後期履修登録の機会を設けることを可能としている。					

⑨ 学部・学科に関係なく希望する学生全員が受講可能となるような必要な体制・取組等

本プログラムの科目は、家政学部、文学部、人間関係学部、比較文化学部は全学共通科目2科目（「データサイエンス・AI概論」「コンピュータ基礎B」）で構成している。社会情報学部社会情報学科社会生活情報学専攻、環境情報学専攻は全学共通科目「データサイエンス・AI概論」、専門教育科目の必修科目「情報処理実習B」の2科目で構成されており、社会情報学科情報デザイン専攻は全学共通科目「データサイエンス・AI概論」、専門教育科目の必修科目「情報処理実習A」の2科目で構成されている。このとおり、希望する学生全員が受講可能となっている。 また、プログラムを進化・改善する組織である情報リテラシー教育検討部会は、全学共通科目の教育課程の運営・管理を所掌している全学共通科目調整委員会の部会に位置付けられており、各学部教授会には当該委員会委員を通じて情報共有が行われており、全学的な連携体制が整っている。
--

⑩ できる限り多くの学生が履修できるような具体的な周知方法・取組

できる限り多くの学生が履修できるよう、次のような取り組みを行っている。 ・新入生発送資料やガイダンス配付資料を活用し周知するとともに、1年次全員にポータルサイト(UNIPA)から周知をしている。 ・ホームページに特設ページを設け、学修成果や後輩等他の学生への推奨度を確認するアンケートなどの結果を積極的に公開している。 ・プログラムの共通科目である「データサイエンス・AI概論」は、複数学部の教員が担当することで特定の学部には偏らない内容になるよう工夫している。 ・前期教務委員会において、後期履修登録、他キャンパス履修、単位互換の日時や手続き方法を教職員で共有しており、上限に達していないプログラム科目について追加登録をするよう促している。

⑪ できる限り多くの学生が履修・修得できるようなサポート体制

できる限り多くの学生が履修・修得できるように次のようなサポート体制をとっている。

- ・プログラムの共通科目である「データサイエンス・AI概論」は、オンデマンド授業で実施しており、学生の理解度によって、繰り返し視聴可能としている。
- ・「データサイエンス・AI概論」は複数学部の教員が担当することで、多様な学生からの質問にも柔軟な対応が可能となっている。
- ・プログラム上、パソコンを使用する演習科目「コンピュータ基礎B」「情報処理実習A」「情報処理実習B」は、「データサイエンス・AI概論」と異なり、対面形式で実施し、パソコンの習熟度によって担当教員やTAがサポートする体制を整えている。
- ・PCの利用やネットワーク接続等に関する質問については、専門部署が学生対応をしている。
- ・学内全域で無線LANを整備し、BYODに対応している。

⑫ 授業時間内外で学習指導、質問を受け付ける具体的な仕組み

授業時間内外で学習指導、質問を受け付ける仕組みとして、次のようなものを設けている。

- ・プログラムを構成する科目を担当する専任教員は、オフィスアワーを活用し、学習指導や質問を受け付けている。
- ・その他、manaba(学修支援システム)のスレッド機能を活用し、いつでも質問を受け付ける仕組みを設けており、他の学生が質問した内容とその答えをすべての履修者が閲覧可能な状態としている。

自己点検・評価について

① プログラムの自己点検・評価を行う体制(委員会・組織等)

情報リテラシー教育検討部会

(責任者名) 山倉 健嗣

(役職名) 部会長

② 自己点検・評価体制における意見等

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学内からの視点	
プログラムの履修・修得状況	情報リテラシー教育検討部会は、大妻データサイエンス・AIプログラムの履修・修得状況を調査の上、プログラムに関する自己点検・評価報告書に掲載し公表する。
学修成果	情報リテラシー教育検討部会は、当該部会が実施する「大妻データサイエンス・AIプログラム修了者アンケート」において、プログラムを構成する科目の到達目標に達したか確認し、自己点検・評価報告書に掲載し公表する。また、大妻データサイエンス・AIプログラムの共通科目である「データサイエンス・AI概論」の成績分布を調査し、本教育プログラムの評価・改善に活用している。
学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度	学生の内容の理解度については、大学が組織的に実施している「授業改善のためのアンケート」にある設問9「この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか」、設問10「あなたは授業に満足しましたか」において確認し、本教育プログラムの評価・改善に活用している。その結果は、情報リテラシー教育検討部会でも情報共有されるとともに、自己点検・評価報告書に記載し公表する。
学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度	後輩等他の学生への推奨度は、情報リテラシー教育検討部会が実施する「大妻データサイエンス・AIプログラム修了者アンケート」において、「友だちや後輩に受講を検討している人がいたら、プログラムをお勧めすることができますか」という設問を設け確認し、本教育プログラムの評価・改善に活用している。その他、同アンケートでは「プログラムについての感想や、改善してほしい点等があれば記入してください」という自由記述設問も設け、学生視点の改善点も確認している。 なお、これらの結果については、本学ホームページで公表するとともに、自己点検・評価報告書にも記載する。
全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	全学的な履修者数、履修率については、毎年情報リテラシー教育検討部会において共有し、現在行っている計画の効果を点検する。また、履修希望者の経年変化を踏まえ、希望者数が計画通り増加した場合は、他の情報リテラシー科目の開講コマ数と調整の上、増コマすることを全学共通科目調整委員会(全学共通科目のコマ数を審議する委員会)に提案する。 なお、本プログラムは令和5年度入学生から履修可能となったプログラムであり、令和5年度は1年生のみが対象だった。令和6年度以降は、対象者が1学年ずつ増えるため、履修者や修了者も増えていくことが見込まれる。
学外からの視点	

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価	本プログラムは令和5年度入学生から履修可能となったプログラムのため、初年度修了者の卒業は令和8年度末になる。そのため、令和9年度以降に修了者の進路、活躍状況等を確認していくこととなる。
産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見	本学が提携や協力をお願いしている企業等産業界から、教育プログラムの内容や手法等への意見を聴取する機会を年に1回設けている。その意見は整理した上で自己点検・評価報告書に記載し公表する。
数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること	プログラムの共通科目である「データサイエンス・AI概論」では、授業のガイダンスとして、初回授業の前にプレ授業を設け、「学ぶことの楽しさ」「学ぶことの意義」を説明している。 また、複数学部の教員がオムニバスで担当することにより、学生自身の今後の学修と関係のある内容も含めることでデータサイエンスやAIについて「学ぶことの意義」を伝える工夫をしている。 さらに担当教員がシラバスを執筆する際に参考とする『授業概要』では、データサイエンス・AIを活用することの「楽しさ」や「学ぶことの意義」に重きを置くことを記した。
内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること ※社会の変化や生成AI等の技術の発展を踏まえて教育内容を継続的に見直すなど、より教育効果の高まる授業内容・方法とするための取組や仕組みについても該当があれば記載	本学では、情報リテラシー教育検討部会において、各種アンケート調査、成績分布などを参考に自己点検・評価を行うとともに、データサイエンス分野に関する協定を締結した企業との意見交換を年に1回行い、社会の変化や生成AI等の技術の発展を踏まえた教育内容の見直しを行っている。

科目区分	全学共通科目	授業形態・方法	講義(オンデマンド)
科目名	データサイエンス・AⅠ概論		
配当年次	1年	単位数	2単位
担当教員	山倉 健嗣、市川 博、小野 茂、近藤 和都、清原 康介、豊田 雄彦、中川 まり、本田 周二、松本 早野香、八城 薫、小野 陽子、園田 隆志		
授業の概要・ねらい	Society5.0 の時代において、数理・データサイエンス・AI の素養を持った人材が求められています。一方、数理やデータサイエンス、AI と聞くと難しそうに感じる人もいます。そのため、この授業ではこれらを活用することの「楽しさ」や「学ぶことの意義」に重きを置きます。 主に「AI やデータサイエンスが社会にもたらす価値」と「デジタル技術が行き渡る社会における課題」をテーマとして、本学の教員を中心に、具体例や最新動向等を織り込みながら、データサイエンスが様々な事象にどう関与しているかという“ストーリー”を理解してもらいます。さらにデータ利活用におけるリスクや留意事項についても学びます。 なお、この科目は文部科学省「数理・データサイエンス・AⅠ教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」で求められる内容と、推奨される教育方法に基づいた授業を予定しています。		
到達目標	次の2 点を到達目標にします。 1.データサイエンスやAⅠ が身近にある様々な事象とどのように関与しているかを学び、それらを活用することの「楽しさ」や「学ぶことの意義」について理解すること。 2,データサイエンス・AI の利活用における留意事項や情報セキュリティ、情報漏洩等、データを守る上での留意事項について理解すること。		
授業内容とスケジュール			
1回	現代社会においてAIは、私たちの日常的な経験を方向付ける原理として機能しつつあります。この回では、多くの人びとが利用しているYouTubeやNetflixなどの動画配信プラットフォームを題材に、それらにAIがどのように活用されているのか、AIによってメディアの生産・流通・消費のあり方がどのように変化しているのかを、社会学や文化研究、批判理論などに基づいて考えます。 【学修項目】1-1.社会で起きている変化／1-6.データ・AI利活用の最新動向 【講師】近藤和都（社会情報学部社会情報学科社会生活情報専攻）		
2回	インターネット上には、SNSへの投稿や検索キーワードなどの莫大なデータが蓄積されていますが、近年、様々な領域において、これらのデータを用いて社会を捉え、社会に存在する課題を解決するための研究が行われています。本授業では、具体的な研究事例を紹介しながら、データサイエンスの可能性について説明します。 【学修項目】1-2.社会で活用されているデータ／1-3.データ・AIの活用領域 【講師】本田周二（人間関係学部人間関係学科社会・臨床心理学専攻）		
3回	インターネット上には大量のデジタルデータが存在し、なかには比較的容易に分析可能な状態で提供されているものもあります。それらインターネット上のデータについて概説したのち、応用可能性が高いデータとして、第一に政府統計を、第二にSNS上の投稿について扱います。それぞれのデータとしての特性、分析手法・分析ツールの例、活用例を示し、その可能性を論じます。 【学修項目】1-2.社会で活用されているデータ 【講師】松本早野香（社会情報学部社会情報学科社会生活情報専攻）		
4回	わが国では、全ての健康保険組合は、加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組が求められています。データヘルス計画は、健診・レセプト情報等のデータ分析に基づき、保健事業をPDCAサイクルで効果的・効率的に実施するための事業計画です。本講義では、データヘルス計画で取り扱う健診・レセプト情報の概要について解説します。 【学修項目】1-2.社会で活用されているデータ／1-3.データ・AIの活用領域 【講師】清原康介（家政学部食物学科）		

5回	現代社会では、様々なデータが企業や公共領域で分析され、広く活用されています。例えば私たちがコンビニエンスストアで買い物をした際にも購買情報はデータとして蓄積され、企業がマーケティングデータとして活用しています。公共領域でも国は統計調査を通じて国民の実態を把握し、社会の課題解決に向けてデータを活用します。この授業では企業や公共領域においてどのようなデータが利活用され、役立っているのかについて学びます。 【学修項目】1-2.社会で活用されているデータ／1-3.データ・AIの活用領域 【講師】中川まり（家政学部ライフデザイン学科）
6回	データといえば従来は数値が分析の対象でしたが、インターネットの普及も含めて情報技術の進展によりテキストデータ（文章）の分析も可能になってきました。この授業ではテキストマイニングの基礎を学習し、その方法論、活用状況を学びます。 【学修項目】1-2.社会で活用されているデータ／1-4.データ・AI利活用のための技術 【講師】豊田雄彦（短期大学部家政科生活総合ビジネス専攻）
7回	クリエイティブな世界にもAIの活躍する場面が広がってきています。ここでは音楽とAIの関係について触れ、AIによる作曲、作詞、編曲、従来は不可能だった音源分離（同時に録音されている楽器の音などを分離する）などについて、Google Colaboratoryという実行環境で実際に触れてみます。 【学修項目】1-3.データ・AIの活用領域／1-4.データ・AI利活用のための技術 【講師】豊田雄彦（短期大学部家政科生活総合ビジネス専攻）
8回	私たちは日常生活において電化製品や自動車などを様々な工業製品を使っています。それらの製品を消費者が安心して使用するためには、製造段階での品質や安全性の確保が重要になります。そのために、モノ作りにおいては様々なデータが活用されています。モノ作りにおけるデータ利活用について現場のデータ収集、分析方法など具体的な事例をあげ説明します。 【学修項目】1-4.データ・AI利活用のための技術／1-5.データ・AI利活用の現場 【講師】市川博（家政学部ライフデザイン学科）
9回	大量のデータが収集・解析できるようになっていますが、社会事象は実験で得られる事象と異なり、再現性がなく、要因を完全に制御できません。そのためデータに基づいて事象を生み出す因果関係を適切に解釈するには社会事象の分析に適した手法を採用する必要があります。講義では、社会科学で使われる代表的なデータ分析の手法とその概念を、事例を用いて解説します。 【学修項目】1-4.データ・AI利活用のための技術／1-5.データ・AI利活用の現場 【講師】小野茂（社会情報学部社会情報学科情報デザイン専攻）
10回	情報通信技術の発展により、膨大で多種・多様なデジタルデータ（ビッグデータ）が生成・流通・蓄積されるようになってきました。しかし、その多くは文書・画像・音声・センサー記録などの非構造化データです。非構造化データから規則性を抽出する手法としてAI技術が注目されています。講義ではAI技術の中で深層学習（ディープラーニング）と呼ばれる技法の技術的基礎と、その応用事例について簡単に紹介します。 【学修項目】1-4.データ・AI利活用のための技術／1-5.データ・AI利活用の現場 【講師】小野茂（社会情報学部社会情報学科情報デザイン専攻）
11回	現在、人工知能（AI）はその存在を意識するかしないかに係わらず様々な場面で利用されています。スマートフォンには画像認識、音声認識や翻訳機能などが搭載され、動画配給やeコマースのサービスにおいては利用者の嗜好を推測する推薦技術が使われています。さらに、高度な画像や文書生成を行う深層学習技術も開発されています。ここではAI技術の様々な活用事例を、その技術と共に説明します。 【学修項目】1-4.データ・AI利活用のための技術／1-5.データ・AI利活用の現場／1-6.データ・AI利活用の最新動向／3-1.データ・AIを扱う上での留意事項 【講師】園田隆志（非常勤講師）

12回	データをうまく利活用できるかは、サンプリングの方法、分析データの収集方法、データの扱い方、分析結果の見せ方、解釈側の認知や意図などの影響を受けます。講義では、どのように収集されているデータかを知ることの大切さ（サンプルの偏り、データの偏り）、結果の見せ方テクニック（データに騙されない知識）、結果の解釈における人間側の問題（認知バイアス）について、体験と事例を用いて解説します。 【学修項目】1-4.データ・AI利活用のための技術／1-5.データ・AI利活用の現場 【講師】八城薫（人間関係学部人間関係学科社会・臨床心理学専攻）
13回	本講義では、データ・AIを扱う上での留意事項を倫理という観点から検討します。 新技術を社会で実用化する過程で生じる技術以外の課題(ELSI)や個人情報保護といった、DS以前からあるデータに関する事柄にとどまらず、DS技術により提供されるサービスの責任など、社会におけるDS技術の展開とその影響についても説明し、履修者にも意見を提出してもらいます。 【学修項目】3-1.データ・AIを扱う上での留意事項 【講師】小野陽子（非常勤講師）
14回	本講義では、データを守る上での留意事項を倫理という観点から検討します。 情報セキュリティ（機密性、完全性、可用性）や匿名加工情報、悪意ある情報搾取について説明した上で、情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例について解説します。また、XR(クロスリアリティ)やメタバースにおける倫理的問題についても検討します。 【学修項目】3-2.データを守るうえでの留意事項 【講師】小野陽子（非常勤講師）
15回	データサイエンス(DS)領域の様々な活動に携わる「DS人材」は、数学・統計学や計算機科学といったDS技術の基盤となる知識を有するだけでなく、未来へのビジョンを持つことが求められます。ビジョンを構築する上では、「データ思考」を日々発生し蓄積されている膨大なデータと向き合い、データから新たなストーリーを紡ぎ、新しい価値を社会に提案した上で実装することが必要です。未来の社会デザインとDSについて検討します。 【学修項目】1-1.社会で起きている変化／1-3.データ・AIの活用領域／1-6.データ・AI利活用の最新動向／3-1.データ・AIを扱う上での留意事項 【講師】小野陽子（非常勤講師）
コメント	<ブレ授業を実施します> 第1回を開講する前に、15分程度の動画を配信しますので、必ず視聴してください。 データサイエンスやAIを活用することの「楽しさ」や「学ぶことの意義」など、本科目の講義全体の狙いについて解説します。 【解説】山倉健嗣（副学長）
授業時間外の学習（予習・復習等）	講義内容を整理し復習した上で、課題に取り組むこと（約1時間）。 そのほか、授業で得た知識、知見をもとに、データサイエンス・AIについての認識の幅を広げ、さらなる学習を進めてください。
成績評価の方法及び基準	各回の課題の成績による総合評価：100% *上記の評価とは別に2/3以上出席していない場合は単位を認定しない。
課題に対するフィードバックの方法	manabaを利用してフィードバックを行う。
質問などの受付	manaba掲示板（スレッド）にて受け付けます。

科目区分	全学共通科目	授業形態・方法	演習
科目名	コンピュータ基礎B		
配当年次	1年	単位数	2単位
担当教員	池田 靖雄／小幡 正子／加藤 浩治／白井 貴子／鈴木 かおり／西川 徹／山本 芳人		
授業の概要・ねらい	当科目は、文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」で求められる内容と、推奨される教育方法に基づいた授業である。 パソコンの基本操作（文字入力、保存、印刷など）ができる学生を対象として、表計算ソフトを使ったデータ処理の方法を演習する。ICT（Information and Communication Technology）が進展し、情報が低コストで、時間差なく収集することができるようになってきている。また、処理しきれない量の情報が氾濫している時代でもある。このような中、本当に必要な情報を取捨選択し、意思決定に生かしていくことが求められている。 本科目では、多くのデータ（社会における実データを含む）から、我々が必要とする情報を抽出すること、また、その抽出結果を読み解き、それらの情報の関係を分析、考察し、表現することを目的とする。その一連の中でExcelの基礎からグラフ、データベース、応用的な関数の使い方を演習する。[数理・データサイエンス・AI リテラシーレベルのモデルカリキュラム：基礎2-1, 2-2, 2-3]		
到達目標	Excelの基本から応用操作を学び、実務に活用できるようになる。 実務で必要となるデータ分析の考え方を学び、自ら計算式をたてられるようになる。 実務に即した効率的な操作ができるようになる。		
授業内容とスケジュール			
1回	ガイダンス、授業の概要説明。 表計算ソフト(Excel)の基本操作、ブックとシートの操作、効率的なデータの入力方法、データの種類。		
2回	表の作成と編集、セルの書式設定、日付と時刻の編集、計算式の考え方、 印刷処理（ページ設定、ヘッダーとフッター、拡大縮小設定） 等		
3回	基本的な関数の使い方（合計、平均、最大、最小、データ件数）、表示形式の設定、データの分布、代表値の性質の違い 等 端数処理（四捨五入、切り上げ、切り捨て、整数化）等		
4回	相対参照と絶対参照 ビジネスで役立つ計算式の考え方、順位付け関数、簡単なIF関数		
5回	グラフの作成（1） グラフの種類と目的、基本的なグラフの作成と編集		
6回	グラフの作成（2） 用途に合った様々なグラフの作成、複合グラフの作成と編集		
7回	データベースの基本操作 並べ替え、データの抽出、オートフィルターとフィルターオプション		
8回	ブックの管理 集計処理、複数シートの操作と作業グループ、3D演算（串刺し演算）		
9回	データのインポートとエクスポート ピボットテーブルとピボットグラフ		
10回	関数の応用（1） IF関数、IF関数の入れ子操作、AND関数、OR関数、RANK関数		
11回	関数の応用（2） 検索、行列関数(VLOOKUP,HLOOKUP関数 等)、エラー処理（ISERROR関数 等）		
12回	関数の応用（3） 文字列の操作(LEFT関数、RIGHT関数、FIND関数、LEN関数、REPLACE関数、TRIM関数 等)		
13回	関数の応用（4） データベース関数、集計処理関数		
14回	総合演習（1） まとめ		
15回	総合演習（2） まとめ		
コメント	スケジュールについては、担当教員によって異なる場合がある。		

授業時間外の学習（予習・復習等）	テキストを事前に予習したうえで、授業に臨むこと。 授業で提示された課題が時間内に完成できなかった場合は、次回の授業開始前までに必ず完成させ、manabaに提出すること。 授業でよく理解できなかった事項は、まずテキストを復習し、自分で考え学ぶ習慣を身につける。さらに理解できないことは、積極的に質問をし、早い時点で問題点を解決すること。
成績評価の方法及び基準	授業参画度10%、課題50%、確認テスト（総合演習）40%
課題に対するフィードバックの方法	manabaを利用してフィードバックを行う。／授業内で適宜コメントやアドバイスをを行う。
質問などの受付	授業中、演習中に随時対応する。また、授業後、教室にて受け付ける。 授業外学習での質問は、manabaにて受け付ける。

科目区分	社会情報学部共通科目	授業形態・方法	実習
科目名	情報処理実習 B		
配当年次	1年	単位数	2単位
担当教員	矢口 哲郎／浜田 忠久／郷 香野子／坂内 久		
授業の概要・ねらい	現代社会で必要な情報活用ソフトウェア（Excel, Word, PowerPoint）の操作方法を学び、レポート作成やプレゼンテーションの基本的スキルを身につけることが目的です。本授業では Excelを中心の内容を行いますが、WordとPowerPointを含めてより実践的な内容を取り扱います。例えば、excelにおいては多くのデータ（社会における実データを含む）から、われわれが必要とする情報を抽出すること、また、その抽出結果を読み解き、それら情報の関係を分析、考察し表現することがそれにあたります。また重要性を鑑み、見ないで打つタイピングに関してマスターの仕方を実施します。それぞれのOfficeソフトを用いた課題を作成し、提出してもらいます。		
到達目標	この授業では、自ら課題を考えやってみることを通じて、以下の授業が出来るようになることを目標とします。■Excelによる表計算・グラフ作成の基本操作、■WordおよびPowerPointによる文書・プレゼンテーション作成の操作。		
授業内容とスケジュール			
1回目	授業ガイダンス（内容、授業の進め方など）&見ないで打つタイピングの習得について		
2回目	文書作成ソフトによる文書作成1：復習と応用①、文字入力、書式・ページ・段落の設定		
3回目	文書作成ソフトによる文書作成2：復習と応用②、表・画像・図の挿入		
4回目	文書作成ソフトによる文書作成3：復習と応用②、図形の描画、総合問題		
5回目	表計算ソフトによる数値処理1：基本機能と操作、計算式入力		
6回目	表計算ソフトによる数値処理2：相対・絶対参照、複合参照、基本的な関数		
7回目	表計算ソフトによる数値処理3：さまざまな関数、グラフ作成		
8回目	表計算ソフトによる数値処理4：表計算中間総合課題（表作成、グラフ）		
9回目	表計算ソフトによる数値処理5：データ集計、表参照		
10回目	表計算ソフトによる数値処理6：さまざまなデータ集計、その他		
11回目	表計算ソフトによるデータの分析1：データの特徴、ばらつき		
12回目	表計算ソフトによるデータの分析2：さまざまなデータ（公的データなど）の利用		
13回目	プレゼンテーションソフトMicrosoft PowerPointの基本的操作：基本復習		
14回目	プレゼンテーションソフトMicrosoft PowerPointの基本的操作：応用①		
15回目	プレゼンテーションソフトMicrosoft PowerPointの基本的操作：応用②		
コメント	各授業では各自提示された課題を、解説・教科書・プリントを頼りに、用意されたサンプル例（ファイル）を目標に作成し、ファイルの提出を行います。演習・実習ですので自力で行うことが重要ですが、必要に応じて回りの人と意見交換をして進めます。 ※スケジュールについては、担当教員によって異なる場合がある。		

授業時間外の学習（予習・復習等）	授業の事前事後には、週4時間程度を目安として、授業でやった課題をスムーズにできるように復習（70％程度）するとともに、次の授業について予習をしてください。
成績評価の方法及び基準	課題提出（80％）、授業への取り組み姿勢（20％）で評価します。
課題に対するフィードバックの方法	manabaを利用してフィードバックを行う。／課題やレポートにコメントをつけて返却する。／授業内で適宜コメントやアドバイスを行う。
質問などの受付	授業後に教室にて受け付けます。manabaでも受け付けます。また、個別質問用のメールアドレス等を授業開始後に伝達します。

科目区分	社会情報学部共通科目	授業形態・方法	実習
科目名	情報処理実習A		
配当年次	1年	単位数	2単位
担当教員	矢口 哲郎		
授業の概要・ねらい	この授業では、現代社会で身につけるべき必須の情報活用能力の基本である、文字・数値・画像情報を扱うワープロ、表計算ソフト、プレゼンテーションソフトを、主体的に使いこなすことが目的です。例えば、Excelにおいては多くのデータ（社会における実データを含む）から、われわれが必要とする情報を抽出すること、またその抽出結果を読み書き、それら情報の関係を分析、考察することがそれにあたります。その結果、これらのソフトウェアを道具として活用できる、実用的レベルの知識と技能を身につけることになります。さらに、変化していく情報処理技術を自ら調べ獲得する力を、リテラシーとしてもつことも目的となります。なお、履修者の情報活用能力の習熟度をみて、学習内容・進度を調整していきます。		
到達目標	この授業では、自ら課題を考えやってみることを通じて、以下の技術が出来るようになることを目標としています。■パソコンでのインターネット検索・電子メールのやりとり、■Wordによる文書作成の基本操作、■Excelによる表計算・グラフ作成の基本操作、■PowerPointによるプレゼンテーション作成の基本操作。		
授業内容とスケジュール			
1回目	コンピュータの基本知識と操作：実習前の諸注意、設備の使い方、OSの操作、キーボード操作他		
2回目	文字入力の基本、ワープロによる文書作成1：文字入力（含タイピング練習）、ファイル保存・読込、ネットの利用など		
3回目	ワープロによる文書作成2：ページ設定、文字設定、書式練習など		
4回目	ワープロによる文書作成3：段落番号、アウトライン、脚注など		
5回目	ワープロによる文書作成4：文書作成中間課題		
6回目	ワープロによる文書作成5：表・写真・図の挿入、いろいろな図形の作成など		
7回目	ワープロによる文書作成6：文書作成総合課題		
8回目	表計算ソフトによる数値処理1：表計算ソフトの基本操作、計算式の入力など		
9回目	表計算ソフトによる数値処理2：絶対・相対参照の活用、関数の利用など		
10回目	表計算ソフトによる数値処理3：グラフの利用など		
11回目	表計算ソフトによる数値処理4：表計算中間総合課題（表集計、グラフ、印刷）		
12回目	表計算ソフトによるデータの分析1：データの特徴、ばらつき		
13回目	表計算ソフトによるデータの分析2：さまざまなデータ（公的データなど）の利用など		
14回目	プレゼンソフトによるスライド作成1：スライド作成の基本など		
15回目	プレゼンソフトによるスライド作成2：オブジェクト挿入、アニメ設定など、プレゼン総合課題		
コメント	各授業では、提示された課題を各自、解説・教科書・プリントを頼りに、用意されたサンプル例（ファイル）を目標に作成し、ファイル（一部印刷）の提出を行います。演習・実習ですので自力で行うことが重要ですが、必要に応じて回りの人と意見交換をして進めます。		

授業時間外の学習（予習・復習等）	授業の事前事後には、週４時間程度を目安として、授業でやった課題をスムーズにできるように復習（70％程度）するとともに、次授業の課題について予習をしてください。
成績評価の方法及び基準	課題提出（８０％）、授業への取り組み姿勢（２０％）で評価します。
課題に対するフィードバックの方法	manabaを利用してフィードバックを行う。／課題やレポートにコメントをつけて返却する。／授業内で適宜コメントやアドバイスを行う。
質問などの受付	授業後に教室にて受け付けます。manabaにて受け付けます。また、個別質問用のメールアドレス等を授業開始後に伝達します。



大妻女子大学

OTSUMA WOMEN'S UNIVERSITY 2023

履修ガイド

家政学部 文学部 社会情報学部 比較文化学部

全学共通科目 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

本学の教養教育では、各学部においてそれぞれの専門の学びを深めることと効果的に接続連携しながら、本学の使命たる「学び働き続ける自立自存の女性」の育成をめざして、幅広い知識と教養の修得、そのための基礎学力の涵養と汎用的な能力、多様な視点の獲得を目標とする教育課程を編成します。

また、学部の相違によって教養教育に違いが生じることの無きよう、科目構成を全学共通カリキュラムとします。以下、全学共通科目のカリキュラム・ポリシーを掲げます。

1. 本学を創立した大妻コタカの学びへの願いを理解し、「学び働き続ける自立自存の女性」の具現を目指すために、基礎科目区分を設け、1年次必修科目の「大妻教養講座」ほか、「女性とキャンパスライフ」に関する科目を配置する。
2. 学びに必要な基礎力を身につけ、主体性、計画力、チームワークといった社会的及び職業的な自立の基盤となる基礎的・汎用的能力を広く養うために、基礎科目区分に「リテラシー」「キャリア」に関する科目を配置する。
3. 現代世界の動向ならびに自分そして他者のありようを多様な視点から見つめ、価値観、興味、立場の異なる様々な他者や複雑化し変化する社会との関係をどのように構築すべきであるかを考える力を養うために、教養科目区分を設け、「人間と文化」「社会と生活」「自然と科学」に関する科目を配置する。
4. 身体感覚及び情緒能力を養い、言語化されないコミュニケーションや物事の理解の仕方があることを知るとともに、他者と共に学ぶことによって自身や他者の情緒や価値観を理解する能力を身につけるために、教養科目区分に「スポーツ」に関する科目を配置する。
5. 国際化が進む現代社会に対応し得る英語力、コミュニケーション力及び思考のための言語運用能力の向上を図るために、外国語科目区分を設け、必修科目の英語科目及びその他の外国語科目を配置する。
6. 国内外への留学、また、国内外から本学へ迎え入れる他大学生や地域コミュニティとの交流を通じ、異文化や日本文化、地域文化への関心を高め、もって文化の多様性を理解するために、地域文化・国際理解科目区分を設け、必要な科目を配置する。

1 全学共通科目について

大妻教養講座について

「大妻教養講座」は本学の特色ある必修科目です。皆さんの母校となる大妻女子大学がどのような建学の精神・伝統・特質を持っているかを学び、皆さんが誇りと自信をもって本学での学生生活を送ることができるように応援します。さらに入学された皆さんが、本学で何をどう学ぶかという入門講座の役割も果たします。また、「大妻教養講座Ⅱ 卒業生から学ぶ」は2年次配当の選択科目で、「大妻教養講座」での学びを踏まえ、卒業生による講演を中心とした授業により将来像のロールモデルを見つけ、大学学修における一助となることを目的に開講します。

大妻データサイエンス・AIプログラムについて（令和5年度新設）

文理を問わず数理・データサイエンス・AIの基礎的な知識・技術について学び、データ分析において重要な概念を身につけ、身近な問題解決に活かすスキルを持つ人材を育成することを目的とした教育プログラムです。卒業までに指定科目を履修し単位修得することがプログラムの修了要件です。

教育プログラムの指定科目（合計2科目4単位を修得）

家政学部・文学部・比較文化学部	「コンピュータ基礎B」（2単位）と「データサイエンス・AI概論」（2単位）
社会情報学部	社会生活情報学専攻 環境情報学専攻 「情報処理実習B」（2単位）*と「データサイエンス・AI概論」（2単位）
	情報デザイン専攻 「情報処理実習A」（2単位）*と「データサイエンス・AI概論」（2単位）

※社会情報学部は、全学共通科目「コンピュータ基礎B」の代わりに学部共通科目の専攻指定科目（上記）を履修してください。

2 全学共通科目の卒業要件

家政学部

(2023 年度入学生から適用)

区分		授 業 科 目 名	単位	期間	講義・演習等の別	配当年次	卒 業 必 要 単 位 数												備考
							被服学科			食物学科			児童学科			ライフデザイン学科			
							必修	選択	選択	必修	選択	選択	必修	選択	選択	必修	選択	選択	
基礎科目	Ⅰ女性とキャンパスライフ	大 妻 教 養 講 座	1	半期	講義	1	1				1				1				
		大妻教養講座Ⅱ 卒業生から学ぶ	1	半期	講義	2													
		キャンパスライフとメンタルヘルス	2	半期	講義	1・2・3・4													
		女 性 と 健 康	2	半期	講義	1・2・3・4													
		ジェンダーと社会生活	2	半期	講義	1・2・3・4			2			2				2			
		女 性 史	2	半期	講義	1・2・3・4													
		リーダーシップ開発	2	半期	演習	2・3・4													
	Ⅱリテラシー	日本語 A (文章表現)	2	半期	講義	1											2		
		日本語 B (口頭表現)	2	半期	講義	1・2													
		日 本 語 C (読 解)	2	半期	講義	1													
		コンピュータ基礎 A	2	半期	演習	1			2				2						
		コンピュータ基礎 B	2	半期	演習	1											2		
		コンピュータ応用	2	半期	演習	1・2・3・4													
		データサイエンス・AI概論	2	半期	講義	1													
	Ⅲキャリア	キャリア・ディベロップメント・プログラムⅠ	2	半期	演習	1・2・3・4													
		キャリア・ディベロップメント・プログラムⅡ	2	半期	演習	2・3・4													
		キャリアデザインⅠ	2	半期	講義	1・2			2				2				2		
		キャリアデザインⅡ	2	半期	講義	2・3													
		キャリアデザインⅢ	2	半期	講義	3・4													
教養科目	Ⅰ人間と文化	文 学 の 世 界	2	半期	講義	1・2・3・4													
		音 楽 の 世 界	2	半期	講義	1・2・3・4													
		美 術 の 世 界	2	半期	講義	1・2・3・4													
		映像・演劇の世界	2	半期	講義	1・2・3・4													
		考古学の世界	2	半期	講義	1・2・3・4													
		ポピュラー・カルチャーの世界	2	半期	講義	1・2・3・4													
		地 域 と 文 化	2	半期	講義	1・2・3・4													
		言 語 と 文 化	2	半期	講義	1・2・3・4													
		日本の歴史と文化	2	半期	講義	1・2・3・4													
		世界の歴史と文化	2	半期	講義	1・2・3・4													
		哲 学 と 思 想	2	半期	講義	1・2・3・4													
		日 本 文 化 ・ 事 情	2	半期	講義	1・2・3・4												※外国人留学生優先	
	Ⅱ社会と生活	子 ど も の 世 界	2	半期	講義	1・2・3・4													
		人間の成長と心理	2	半期	講義	1・2・3・4													
		日 本 国 憲 法	2	半期	講義	1・2・3・4													
		法 律 と 現 代 社 会	2	半期	講義	1・2・3・4													
		政 治 と 現 代 社 会	2	半期	講義	1・2・3・4			10	15							8	15	
		経 済 と 現 代 社 会	2	半期	講義	1・2・3・4					4	9							
		メディアと現代社会	2	半期	講義	1・2・3・4													
		家 族 と 現 代 社 会	2	半期	講義	1・2・3・4													
		福祉と現代社会 (ボランティアを含む)	2	半期	講義	1・2・3・4													
		SDGs と 現 代 社 会	2	半期	講義	1・2・3・4													
	Ⅲ自然と科学	数 学 の 世 界	2	半期	講義	1・2・3・4													
		生 活 の 物 理	2	半期	講義	1・2・3・4													
		生 活 の 化 学	2	半期	講義	1・2・3・4													
		科 学 と 環 境	2	半期	講義	1・2・3・4													
		生 命 の 科 学	2	半期	講義	1・2・3・4													
		宇 宙 の 科 学	2	半期	講義	1・2・3・4													
人 類 の 進 化		2	半期	講義	1・2・3・4														
自 然 科 学 の 歴 史		2	半期	講義	1・2・3・4														
Ⅳスポーツ	ス ポ ー ツ A	1	半期	実技	1・2・3・4														
	ス ポ ー ツ B	1	半期	実技	1・2・3・4														
	ス ポ ー ツ C	1	半期	実技	1・2・3・4														
	ス ポ ー ツ D	1	半期	実技	1・2・3・4														
	シーズン・スポーツ	1	半期 (一部集中)	実技	1・2・3・4														
	ス ポ ー ツ と 健 康	2	半期	講義	1・2・3・4														
	レクリエーション論	2	半期	講義	1・2・3・4														
	レクリエーション実技	1	半期	実技	1・2・3・4														

区 分	授 業 科 目 名	単位	期間	講義・演習等の別	配当 年次	卒 業 必 要 単 位 数												備 考					
						被服学科			食物学科			児童学科			ライフデザイン学科								
						必修	選択	選択	必修	選択	選択	必修	選択	選択	必修	選択	選択						
外国語科目	英 語 I A	1	半期	演習	1	2				2				2				2					
	英 語 I B	1	半期	演習	1																		
	英 語 I C	1	半期	演習	1																		
	英 語 I D	1	半期	演習	1																		
	英 語 II A	1	半期	演習	2																		
	英 語 II B	1	半期	演習	2																		
	英 語 II C	1	半期	演習	2																		
	英 語 II D	1	半期	演習	2																		
	英 語 III A	1	半期	演習	2																		
	英 語 III B	1	半期	演習	2																		
	フ ラ ン ス 語 I	1	半期	演習	1・2																		
	フ ラ ン ス 語 II	1	半期	演習	1・2																		
	フ ラ ン ス 語 III	1	半期	演習	2・3																		
	フ ラ ン ス 語 IV	1	半期	演習	2・3																		
	ド イ ツ 語 I	1	半期	演習	1・2																		
	ド イ ツ 語 II	1	半期	演習	1・2																		
	ド イ ツ 語 III	1	半期	演習	2・3																		
	ド イ ツ 語 IV	1	半期	演習	2・3																		
	ス ペ イ ン 語 I	1	半期	演習	1・2																		
	ス ペ イ ン 語 II	1	半期	演習	1・2																		
	ス ペ イ ン 語 III	1	半期	演習	2・3																		
	ス ペ イ ン 語 IV	1	半期	演習	2・3																		
	ロ シ ア 語 I	1	半期	演習	1・2																		
	ロ シ ア 語 II	1	半期	演習	1・2																		
	ロ シ ア 語 III	1	半期	演習	2・3																		
	ロ シ ア 語 IV	1	半期	演習	2・3																		
	中 国 語 I	1	半期	演習	1・2																		
	中 国 語 II	1	半期	演習	1・2																		
	中 国 語 III	1	半期	演習	2・3																		
	中 国 語 IV	1	半期	演習	2・3																		
	韓 国 語 I	1	半期	演習	1・2																		
	韓 国 語 II	1	半期	演習	1・2																		
	韓 国 語 III	1	半期	演習	2・3																		
	韓 国 語 IV	1	半期	演習	2・3																		
	日 本 語 I	1	半期	演習	1・2																	※外国人留 学生対象	
	日 本 語 II	1	半期	演習	1・2																		
	日 本 語 III	1	半期	演習	2・3																		
	日 本 語 IV	1	半期	演習	2・3																		
国際理解科目・ 地域文化	地 域 文 化 理 解 I	2	集中	演習	1・2・3・4																		
	地 域 文 化 理 解 II	2	集中	演習	1・2・3・4																		
	地 域 文 化 理 解 III	2	集中	演習	1・2・3・4																		
	国際理解（海外研修）I	2	集中	演習	1・2・3・4																		
	国際理解（海外研修）II	2	集中	演習	1・2・3・4																		
	国際理解（海外研修）III	2	集中	演習	1・2・3・4																		
	国際理解（海外研修）IV	1	集中	演習	1・2・3・4																		
	国際理解（海外研修）V	1	集中	演習	1・2・3・4																		
最低履修単位数						3	16	15	3	16	9	3	16	9	3	16	15						
						34			28			28			34								

注（１）この表は、全学共通科目の卒業要件である。専門教育科目については、各学科の項を参照すること。

注（２）上記の全学共通科目の配当年次は変更になることがあるので、授業時間割で確認すること。

2 全学共通科目の卒業要件

文学部

(2023 年度入学生から適用)

区分		授業科目名	単位	期間	講義・演習等の別	配当年次	卒業必要単位数												備考
							日本文学科			英語英文学科			コミュニケーション文化学科 英語専修			コミュニケーション文化学科 中国語専修			
							必修	選択必修	選択	必修	選択必修	選択	必修	選択必修	選択	必修	選択必修	選択	
基礎科目	Ⅰ女性とキャンパスライフ	大妻教養講座	1	半期	講義	1	1				1				1				
		大妻教養講座Ⅱ 卒業生から学ぶ	1	半期	講義	2													
		キャンパスライフとメンタルヘルス	2	半期	講義	1・2・3・4													
		女性と健康	2	半期	講義	1・2・3・4													
		ジェンダーと社会生活	2	半期	講義	1・2・3・4		2			2			2			2		
		女性史	2	半期	講義	1・2・3・4													
		リーダーシップ開発	2	半期	演習	2・3・4													
	Ⅱリテラシー	日本語 A (文章表現)	2	半期	講義	1		2			2			2					
		日本語 B (口頭表現)	2	半期	講義	1・2													
		日本語 C (読解)	2	半期	講義	1													
		コンピュータ基礎 A	2	半期	演習	1													
		コンピュータ基礎 B	2	半期	演習	1													
		コンピュータ応用	2	半期	演習	1・2・3・4													
	Ⅲキャリア	データサイエンス・AI概論	2	半期	講義	1													
		キャリア・ディベロップメント・プログラムⅠ	2	半期	演習	1・2・3・4													
		キャリア・ディベロップメント・プログラムⅡ	2	半期	演習	2・3・4													
		キャリアデザインⅠ	2	半期	講義	1・2		2			2			2			2		
		キャリアデザインⅡ	2	半期	講義	2・3													
	教養科目	Ⅰ人間と文化	キャリアデザインⅢ	2	半期	講義	3・4												
			文学の世界	2	半期	講義	1・2・3・4												
音楽の世界			2	半期	講義	1・2・3・4													
美術の世界			2	半期	講義	1・2・3・4													
映像・演劇の世界			2	半期	講義	1・2・3・4													
考古学の世界			2	半期	講義	1・2・3・4													
ポピュラー・カルチャーの世界			2	半期	講義	1・2・3・4													
地域と文化			2	半期	講義	1・2・3・4													
言語と文化			2	半期	講義	1・2・3・4													
日本の歴史と文化			2	半期	講義	1・2・3・4													
世界の歴史と文化			2	半期	講義	1・2・3・4													
哲学と思想			2	半期	講義	1・2・3・4													
日本文化・事情		2	半期	講義	1・2・3・4													※外国人留学生優先	
Ⅱ社会と生活		子どもの世界	2	半期	講義	1・2・3・4													
		人間の成長と心理	2	半期	講義	1・2・3・4													
		日本国憲法	2	半期	講義	1・2・3・4													
		法律と現代社会	2	半期	講義	1・2・3・4													
		政治と現代社会	2	半期	講義	1・2・3・4		10	18		10	8		10	8		10	10	
		経済と現代社会	2	半期	講義	1・2・3・4													
		メディアと現代社会	2	半期	講義	1・2・3・4													
	家族と現代社会	2	半期	講義	1・2・3・4														
Ⅲ自然と科学	福祉と現代社会 (ボランティアを含む)	2	半期	講義	1・2・3・4														
	SDGs と現代社会	2	半期	講義	1・2・3・4														
	数学の世界	2	半期	講義	1・2・3・4														
	生活の物理	2	半期	講義	1・2・3・4														
	生活の化学	2	半期	講義	1・2・3・4														
	科学と環境	2	半期	講義	1・2・3・4														
	生命の科学	2	半期	講義	1・2・3・4														
	宇宙の科学	2	半期	講義	1・2・3・4														
Ⅳスポーツ	人類の進化	2	半期	講義	1・2・3・4														
	自然科学の歴史	2	半期	講義	1・2・3・4														
	スポーツ A	1	半期	実技	1・2・3・4														
	スポーツ B	1	半期	実技	1・2・3・4														
	スポーツ C	1	半期	実技	1・2・3・4														
	スポーツ D	1	半期	実技	1・2・3・4														
	シーズン・スポーツ	1	半期 (一部集中)	実技	1・2・3・4														
スポーツと健康	2	半期	講義	1・2・3・4															
レクリエーション論	2	半期	講義	1・2・3・4															
レクリエーション実技	1	半期	実技	1・2・3・4															

区分	授業科目名	単位	期間	講義・演習等の別	配当年次	卒業必要単位数												備考
						日本文学科			英語英文学科			コミュニケーション文化学科 英語専修			コミュニケーション文化学科 中国語専修			
						必修	選択必修	選択	必修	選択必修	選択	必修	選択必修	選択	必修	選択必修	選択	
外国語科目	英語ⅠA	1	半期	演習	1	2												
	英語ⅠB	1	半期	演習	1													
	英語ⅠC	1	半期	演習	1													
	英語ⅠD	1	半期	演習	1													
	英語ⅡA	1	半期	演習	2				8			8			6			
	英語ⅡB	1	半期	演習	2													
	英語ⅡC	1	半期	演習	2													
	英語ⅡD	1	半期	演習	2													
	英語ⅢA	1	半期	演習	2													
	英語ⅢB	1	半期	演習	2													
	フランス語Ⅰ	1	半期	演習	1・2													
	フランス語Ⅱ	1	半期	演習	1・2													
	フランス語Ⅲ	1	半期	演習	2・3													
	フランス語Ⅳ	1	半期	演習	2・3													
	ドイツ語Ⅰ	1	半期	演習	1・2													
	ドイツ語Ⅱ	1	半期	演習	1・2													
	ドイツ語Ⅲ	1	半期	演習	2・3													
	ドイツ語Ⅳ	1	半期	演習	2・3													
	スペイン語Ⅰ	1	半期	演習	1・2													
	スペイン語Ⅱ	1	半期	演習	1・2													
	スペイン語Ⅲ	1	半期	演習	2・3													
	スペイン語Ⅳ	1	半期	演習	2・3													
	ロシア語Ⅰ	1	半期	演習	1・2													
	ロシア語Ⅱ	1	半期	演習	1・2				4			4						
	ロシア語Ⅲ	1	半期	演習	2・3													
	ロシア語Ⅳ	1	半期	演習	2・3													
	中国語Ⅰ	1	半期	演習	1・2										4			
	中国語Ⅱ	1	半期	演習	1・2													
	中国語Ⅲ	1	半期	演習	2・3													
	中国語Ⅳ	1	半期	演習	2・3													
	韓国語Ⅰ	1	半期	演習	1・2													
	韓国語Ⅱ	1	半期	演習	1・2													
	韓国語Ⅲ	1	半期	演習	2・3													
	韓国語Ⅳ	1	半期	演習	2・3													
	日本語Ⅰ	1	半期	演習	1・2												※外国人留学生対象	
	日本語Ⅱ	1	半期	演習	1・2													
	日本語Ⅲ	1	半期	演習	2・3													
	日本語Ⅳ	1	半期	演習	2・3													
国際理解科目・ 地域文化	地域文化理解Ⅰ	2	集中	演習	1・2・3・4													
	地域文化理解Ⅱ	2	集中	演習	1・2・3・4													
	地域文化理解Ⅲ	2	集中	演習	1・2・3・4													
	国際理解（海外研修）Ⅰ	2	集中	演習	1・2・3・4													
	国際理解（海外研修）Ⅱ	2	集中	演習	1・2・3・4													
	国際理解（海外研修）Ⅲ	2	集中	演習	1・2・3・4													
	国際理解（海外研修）Ⅳ	1	集中	演習	1・2・3・4													
	国際理解（海外研修）Ⅴ	1	集中	演習	1・2・3・4													
最低履修単位数						3	16	18	11	18	8	11	18	8	13	14	10	
						37			37			37			37			

注（１）この表は、全学共通科目の卒業要件である。専門教育科目については、各学科の項を参照すること。

注（２）上記の全学共通科目の配当年次は変更になることがあるので、授業時間割で確認すること。

2 全学共通科目の卒業要件

社会情報学部

(2023 年度入学生から適用)

区分		授 業 科 目 名	単位	期間	講義・演習等の別	配当年次	卒 業 必 要 単 位 数									備考
							社会生活情報学専攻			環境情報学専攻			情報デザイン専攻			
							必修	選択必修	選択	必修	選択必修	選択	必修	選択必修	選択	
基礎科目	Ⅰ女性とキャンパスライフ	大 妻 教 養 講 座	1	半期	講義	1	1			1			1			
		大妻教養講座Ⅱ 卒業生から学ぶ	1	半期	講義	2										
		キャンパスライフとメンタルヘルス	2	半期	講義	1・2・3・4										
		女 性 と 健 康	2	半期	講義	1・2・3・4										
		ジェンダーと社会生活	2	半期	講義	1・2・3・4										
		女 性 史	2	半期	講義	1・2・3・4										
		リーダーシップ開発	2	半期	演習	2・3・4										
	Ⅱリテラシー	日 本 語 A (文 章 表 現)	2	半期	講義	1									社会生活情報学専攻は選択必修単位数に含まない 社会情報学部は開講せず	
		日 本 語 B (口 頭 表 現)	2	半期	講義	1・2										
		日 本 語 C (読 解)	2	半期	講義	1										
		コンピュータ基礎A	2	半期	演習	1	4		4			4				
		コンピュータ基礎B	2	半期	演習	1										
		コンピュータ応用	2	半期	演習	1・2・3・4										
	Ⅲキャリア	データサイエンス・AI概論	2	半期	講義	1										
		キャリア・ディベロップメント・プログラムⅠ	2	半期	演習	1・2・3・4										
		キャリア・ディベロップメント・プログラムⅡ	2	半期	演習	2・3・4										
		キャリアデザインⅠ	2	半期	講義	1・2										
		キャリアデザインⅡ	2	半期	講義	2・3										
	教 養 科 目	Ⅰ人間と文化	キャリアデザインⅢ	2	半期	講義	3・4									
文 学 の 世 界			2	半期	講義	1・2・3・4									外国人留学生優先	
音 楽 の 世 界			2	半期	講義	1・2・3・4										
美 術 の 世 界			2	半期	講義	1・2・3・4										
映 像 ・ 演 劇 の 世 界			2	半期	講義	1・2・3・4										
考 古 学 の 世 界			2	半期	講義	1・2・3・4										
ポピュラー・カルチャーの世界			2	半期	講義	1・2・3・4										
地 域 と 文 化			2	半期	講義	1・2・3・4										
言 語 と 文 化			2	半期	講義	1・2・3・4										
日 本 の 歴 史 と 文 化			2	半期	講義	1・2・3・4										
世 界 の 歴 史 と 文 化			2	半期	講義	1・2・3・4										
哲 学 と 思 想			2	半期	講義	1・2・3・4										
日 本 文 化 ・ 事 情		2	半期	講義	1・2・3・4											
Ⅱ社会と生活		子 ども の 世 界	2	半期	講義	1・2・3・4										
		人 間 の 成 長 と 心 理	2	半期	講義	1・2・3・4										
		日 本 国 憲 法	2	半期	講義	1・2・3・4										
		法 律 と 現 代 社 会	2	半期	講義	1・2・3・4	8	11	8	11	8	11				
		政 治 と 現 代 社 会	2	半期	講義	1・2・3・4										
		経 済 と 現 代 社 会	2	半期	講義	1・2・3・4										
		メディアと現代社会	2	半期	講義	1・2・3・4										
		家 族 と 現 代 社 会	2	半期	講義	1・2・3・4										
		福祉と現代社会(ボランティアを含む)	2	半期	講義	1・2・3・4										
		SDGsと現代社会	2	半期	講義	1・2・3・4										
Ⅲ自然と科学		数 学 の 世 界	2	半期	講義	1・2・3・4										
		生 活 の 物 理	2	半期	講義	1・2・3・4										
		生 活 の 化 学	2	半期	講義	1・2・3・4										
		科 学 と 環 境	2	半期	講義	1・2・3・4										
		生 命 の 科 学	2	半期	講義	1・2・3・4										
		宇 宙 の 科 学	2	半期	講義	1・2・3・4										
		人 類 の 進 化	2	半期	講義	1・2・3・4										
		自 然 科 学 の 歴 史	2	半期	講義	1・2・3・4										
Ⅳスポーツ		ス ポ ー ツ A	1	半期	実技	1・2・3・4										
		ス ポ ー ツ B	1	半期	実技	1・2・3・4										
		ス ポ ー ツ C	1	半期	実技	1・2・3・4										
		ス ポ ー ツ D	1	半期	実技	1・2・3・4										
		シ ー ズ ン ・ ス ポ ー ツ	1	半期 (一部集中)	実技	1・2・3・4										
		ス ポ ー ツ と 健 康	2	半期	講義	1・2・3・4										
		レクリエーション論	2	半期	講義	1・2・3・4										
	レクリエーション実技	1	半期	実技	1・2・3・4											

区分	授 業 科 目 名	単位	期間	講義・演習等の別	配当年次	卒 業 必 要 単 位 数									備考								
						社会生活情報学専攻			環境情報学専攻			情報デザイン専攻											
						必修	選択必修	選択	必修	選択必修	選択	必修	選択必修	選択									
外国語科目	英 語 I A	1	半期	演習	1	10			10			10											
	英 語 I B	1	半期	演習	1																		
	英 語 I C	1	半期	演習	1																		
	英 語 I D	1	半期	演習	1																		
	英 語 II A	1	半期	演習	2																		
	英 語 II B	1	半期	演習	2																		
	英 語 II C	1	半期	演習	2																		
	英 語 II D	1	半期	演習	2																		
	英 語 III A	1	半期	演習	2																		
	英 語 III B	1	半期	演習	2																		
	フ ラ ン ス 語 I	1	半期	演習	1・2																		
	フ ラ ン ス 語 II	1	半期	演習	1・2																		
	フ ラ ン ス 語 III	1	半期	演習	2・3																		
	フ ラ ン ス 語 IV	1	半期	演習	2・3																		
	ド イ ツ 語 I	1	半期	演習	1・2																		
	ド イ ツ 語 II	1	半期	演習	1・2																		
	ド イ ツ 語 III	1	半期	演習	2・3																		
	ド イ ツ 語 IV	1	半期	演習	2・3																		
	ス ペ イ ン 語 I	1	半期	演習	1・2																		
	ス ペ イ ン 語 II	1	半期	演習	1・2																		
	ス ペ イ ン 語 III	1	半期	演習	2・3																		
	ス ペ イ ン 語 IV	1	半期	演習	2・3																		
	ロ シ ア 語 I	1	半期	演習	1・2																		
	ロ シ ア 語 II	1	半期	演習	1・2																		
	ロ シ ア 語 III	1	半期	演習	2・3																		
	ロ シ ア 語 IV	1	半期	演習	2・3																		
	中 国 語 I	1	半期	演習	1・2																		
	中 国 語 II	1	半期	演習	1・2																		
	中 国 語 III	1	半期	演習	2・3																		
	中 国 語 IV	1	半期	演習	2・3																		
	韓 国 語 I	1	半期	演習	1・2																		
	韓 国 語 II	1	半期	演習	1・2																		
	韓 国 語 III	1	半期	演習	2・3																		
	韓 国 語 IV	1	半期	演習	2・3																		
	日 本 語 I	1	半期	演習	1・2																		
	日 本 語 II	1	半期	演習	1・2																		
	日 本 語 III	1	半期	演習	2・3																		
	日 本 語 IV	1	半期	演習	2・3																		
国際理解科目・ 地域文化	地 域 文 化 理 解 I	2	集中	演習	1・2・3・4																		
	地 域 文 化 理 解 II	2	集中	演習	1・2・3・4																		
	地 域 文 化 理 解 III	2	集中	演習	1・2・3・4																		
	国際理解（海外研修）I	2	集中	演習	1・2・3・4																		
	国際理解（海外研修）II	2	集中	演習	1・2・3・4																		
	国際理解（海外研修）III	2	集中	演習	1・2・3・4																		
	国際理解（海外研修）IV	1	集中	演習	1・2・3・4																		
	国際理解（海外研修）V	1	集中	演習	1・2・3・4																		
	最低履修単位数						11	12	11	11	12	11	11										
						34			34			34											

注（１）この表は、全学共通科目の卒業要件である。専門教育科目については、各学科の項を参照すること。

注（２）上記の全学共通科目の配当年次は変更になることがあるので、授業時間割で確認すること。

5 専門教育科目の卒業要件

社会情報学科 社会生活情報学専攻

(2023 年度入学生から適用)

区分	授 業 科 目 名	配当年次	期間	講義・演習等の別	単位数		卒業に必要な単位数
					必修	選択	
学部 共通科目	必修	コ ン ピ ュ ー タ の 基 礎	1	半期	講義	2	(8)
		情 報 処 理 実 習 A	1	半期②	実習	2	
		情 報 処 理 実 習 B	1	半期②	実習	2	
		基 礎 社 会 学	1	半期	講義	2	
	選択	基 礎 統 計 学	1	半期	講義・演習	2	(6)
		ソ フ ト ウ ェ ア 概 論	1	半期	講義	2	
		現 代 経 済 学	1	半期	講義	2	
		情 報 基 礎 数 学	1・2	半期	講義	2	
		社 会 情 報 概 論	2	半期	講義	2	
		情 報 社 会 論	2	半期	講義	2	
		コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 論	2	半期	講義	2	
		情 報 倫 理	2・3	半期	講義	2	
		社 会 政 策 ・ 労 働 問 題	2・3	半期	講義	2	
		情 報 セ キ ュ リ テ ィ 論	2・3	半期	講義	2	
		情 報 と 職 業	3・4	半期	講義	2	
		情 報 と 法 律	2・3	半期	講義	2	
		建 築 ・ 不 動 産 と 社 会	2	半期	講義	2	
		英 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン I	3	半期	演習	2	
		英 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン II	3	半期	演習	2	
専門 教育科目	必修	経 営 学 入 門	1	半期	講義	2	(26)
		基 礎 経 済 学	1	半期	講義	2	
		社 会 生 活 情 報 基 礎 演 習 I	1	半期	演習	2	
		社 会 生 活 情 報 基 礎 演 習 II	1	半期	演習	2	
		プ ロ グ ラ ミ ン グ の 基 礎	2	半期	講義・演習	2	
		プ ロ グ ラ ミ ン グ 基 礎 演 習	2	半期	講義・演習	2	
		社 会 情 報 学 ゼ ミ ナ ー ル I	3	半期	演習	2	
		社 会 情 報 学 ゼ ミ ナ ー ル II	3	半期	演習	2	
		社 会 情 報 学 ゼ ミ ナ ー ル III	4	半期	演習	2	
		社 会 情 報 学 ゼ ミ ナ ー ル IV	4	半期	演習	2	
		卒 業 研 究	4	半期	—	6	
	選択	発 達 心 理 学	1・2	半期	講義	2	(26)
		感 情 と パ ー ソ ナ リ テ ィ の 心 理 学	1・2	半期	講義	2	
		病 と 健 康 の 心 理 学	1・2	半期	講義	2	
		老 い の 心 理 学	1・2	半期	講義	2	
		社 会 心 理 学	1・2	半期	講義	2	
		心 理 統 計 演 習	3・4	半期	演習	2	
		経 済 政 策 論	1・2	半期	講義	2	
		マ ク ロ 経 済 と 金 融	1・2	半期	講義	2	
		演 習 ・ 経 済 情 報 分 析	2	半期	演習	2	
		グ ロ ー バ ル 経 済	2・3	半期	講義	2	
		現 代 資 本 主 義 論	2・3	半期	講義	2	
		現 代 企 業 行 動 論	2・3	半期	講義	2	
		産 業 組 織 の 経 済 学	2・3	半期	講義	2	
		情 報 の 経 済 学	2・3	半期	講義	2	
		日 本 経 済 論	2・3	半期	講義	2	
		経 済 史	2・3	半期	講義	2	
		I T ビ ジ ネ ス	3・4	半期	講義	2	
		国 際 金 融 論	3・4	半期	講義	2	
		ネ ッ ト ワ ー ク 経 済 論	3・4	半期	講義	2	

区分	授 業 科 目 名	配当年次	期 間	講義・演習等の別	単位数		卒業に必要な単位数
					必修	選択	
専 門 教 育 科 目	経営学系	会 計 学 入 門	1・2	半期	講義		2
		マ ー ケ テ ィ ン グ 入 門	1・2	半期	講義		2
		ケ ー ス ス タ デ ィ 経 営 学	2	半期	演習		2
		経 営 戦 略 論	2・3	半期	講義		2
		企 業 と 社 会	2・3	半期	講義		2
		経 営 組 織 論	2・3	半期	講義		2
		マーケティング・サイエンス	2・3	半期	講義		2
		流 通 論	2・3	半期	講義		2
		ブ ラ ン ド 論	2・3	半期	講義		2
		消 費 者 行 動 論	2・3	半期	講義		2
	社会学系	消 費 者 行 動 演 習	2・3・4	半期	演習		2
		地 域 経 営 論	3・4	半期	講義		2
		現 代 社 会 論	1・2	半期	講義		2
		ジェンダーとコロニアリズム	2・3	半期	講義		2
		グローバリゼーションの社会学	2・3	半期	講義		2
		量 的 調 査 演 習	2・3	半期	演習		2
		質 的 調 査 演 習	2・3	半期	演習		2
		社 会 調 査 法	1・2・3	半期	講義・演習		2
		情 報 行 動 論	2・3	半期	講義		2
		情 報 文 化 史	2・3	半期	講義		2
	メディア学系	文 化 と 社 会	3・4	半期	講義		2
		都 市 論	2・3	半期	講義		2
		社 会 学 の 理 論 と 方 法	2・3	半期	講義		2
		メ デ ィ ア 学 基 礎	1・2	半期	講義		2
		メ デ ィ ア 史	2・3	半期	講義		2
		マ ス メ デ ィ ア 論	2	半期	講義		2
		情 報 表 現 法	2	半期	演習		2
		コ ン テ ン ツ 産 業 論	2・3	半期	講義		2
		オルタナティブ・メディア論	2・3	半期	講義		2
		ソ ー シ ャ ル メ デ ィ ア 論	2・3	半期	講義		2
	情報学系	メ デ ィ ア 運 用 演 習	2・3	半期	演習		2
		メ デ ィ ア 社 会 論 演 習	1・2	半期	演習		2
		広 告 論	3・4	半期	講義		2
		オ ン ラ イ ン デ ー タ 分 析	3・4	半期	演習		2
		メ デ ィ ア と 社 会 変 容	2・3	半期	講義		2
		コ ミ ュ ニ テ ィ の 変 容	2・3	半期	講義		2
		A I 社 会 論	2・3	半期	講義		2
		情 報 分 析 演 習	2	半期	演習		2
		情 報 リ テ ラ シ ー 演 習	3	半期	演習		2
		異 文 化 理 解 I	1・2・3・4	—	—		2
		異 文 化 理 解 II	1・2・3・4	—	—		2
	教職課程関連科目 (のみ履修可能)	アルゴリズム論及び演習Ⅰ	3	半期	講義・演習		2
		アルゴリズム論及び演習Ⅱ	3	半期	講義・演習		2
		情報システム論及び実習Ⅰ	3	半期	講義・実習		2
		情報システム論及び実習Ⅱ	3	半期	講義・実習		2
		情報ネットワーク論及び実習Ⅰ	2・3	半期	講義・実習		2
		情報ネットワーク論及び実習Ⅱ	2・3	半期	講義・実習		2

(50)

注 (1) この表は社会情報学科社会生活情報学専攻の専門教育科目に関する規程であって、全学共通科目については全学共通科目の項による。

注 (2) 各科目の配当年次は、変更になることがあるので、授業時間割等で確認すること。

5 専門教育科目の卒業要件

社会情報学科 環境情報学専攻

(2023 年度入学生から適用)

区分	授 業 科 目 名	配当年次	期間	講義・演習 等の別	単位数			先 修 条 件	資格科目	卒業に必要な 単位数
					必修	選択 必修	選択			
学部 共通 科目	必修	コンピュータの基礎	1	半期	講義	2				(8)
	必修	情報処理実習 A	1	半期②	実習	2				
	必修	情報処理実習 B	1	半期②	実習	2				
	必修	基礎社会学	1	半期	講義	2				
	選択	基礎統計学	1	半期	講義・演習		2			(6)
		ソフトウェア概論	1	半期	講義		2			
		現代経済学	1	半期	講義		2			
		情報基礎数学	1・2	半期	講義		2			
		社会情報概論	2	半期	講義		2			
		情報社会論	2	半期	講義		2			
		コミュニケーション論	2	半期	講義		2			
		情報倫理	2・3	半期	講義		2			
		社会政策・労働問題	2・3	半期	講義		2			
		情報セキュリティ論	2・3	半期	講義		2			
		情報と職業	3・4	半期	講義		2			
		情報と法律	2・3	半期	講義		2			
		建築・不動産と社会	2	半期	講義		2			
		英語コミュニケーションⅠ	3	半期	演習		2			
		英語コミュニケーションⅡ	3	半期	演習		2			
専門 教育 科目	必修	環境情報学基礎演習	1	半期	演習	2				(24)
		環境学入門	1	半期	講義	2				
		エコライフ論	1	半期	講義	2				
		プログラミングの基礎	2	半期	講義・演習	2				
		プログラミング基礎演習	2	半期	講義・演習	2				
		環境情報処理論及び実習Ⅰ	3	半期	講義・実習	2				
		環境情報処理論及び実習Ⅱ	3	半期	講義・実習	2				
		社会情報学ゼミナールⅢ	4	半期	演習	2		注 (5)		
		社会情報学ゼミナールⅣ	4	半期	演習	2		注 (5)		
		卒業研究	4	半期	—	6		注 (5)		
	選択必修	社会情報学ゼミナールⅠ	3	半期	演習		2	注 (5)		2
		建築・都市ゼミナールⅠ	3	半期	演習		2	注 (5)	☆	
		社会情報学ゼミナールⅡ	3	半期	演習		2	注 (5)		
		建築・都市ゼミナールⅡ	3	半期	演習		2	注 (5)	☆	
	選択	人間と環境	生命のしくみ	2	半期	講義		2		(4)
			環境科学	3	半期	講義		2		
			地球環境論	2	半期	講義		2		
			住居環境論	2	半期	講義		2	☆	
			宇宙地球科学	2	半期	講義		2		
			生命科学とくらし	3	半期	講義		2		
			食と環境	3	半期	講義		2		
			健康と環境	3	半期	講義		2		
			環境演習Ⅰ	3	半期②	講義・演習		2		
			環境演習Ⅱ	3	半期②	講義・演習		2	☆	
			特殊講義Ⅱ(くらしと環境)	3	半期	講義		2	☆	
			環境生理学	3	半期	講義		2		
		住居のデザイン	住居学	1	半期	講義		2	☆	
			設計製図の基礎	2	半期②	演習		2	☆	
			住居デザイン演習Ⅰ	2	半期②	演習		2	☆	
			住居デザイン演習Ⅱ	3	半期②	演習		2	☆	
			住居デザイン	2	半期	講義		2	☆	
			力とかたちⅠ	2	半期	講義		2	☆	
			力とかたちⅡ	2	半期	講義		2	☆	
			建築と都市の歴史	2	半期	講義		2	☆	
			建築と社会	2	半期	講義		2	☆	
			建築インテリア材料	3	半期	講義		2	☆	
			建築法規と都市デザイン	3	半期	講義		2	◆ ☆	

区分	授 業 科 目 名	配当 年次	期間	講義・演習 等の別	単位数			先 修 条 件	資格科目	卒業に必要な 単位数
					必修	選択 必修	選択			
専 門 教 育 科 目	持続的なくらしと社会	環 境 と 経 済 I	2・3	半期	講義		2			
		環 境 と 経 済 II	3・4	半期	講義		2			
		環 境 と 法 律 I	2・3	半期	講義		2		◆ ◇	
		環 境 と 法 律 II	3・4	半期	講義		2		◆ ◇	
		環 境 と 経 営	2・3	半期	講義		2			
		環境マネジメント論	3	半期	講義		2			
		特殊講義Ⅰ(社会と環境)	3	半期	講義		2			
		環境とアグリビジネス	3・4	半期	講義		2			
		環境とマーケティング	3・4	半期	講義		2			
	環境との共生	エネルギーと環境	3・4	半期	講義		2			
		環境デザイン論	1	半期	講義		2		◆ ◇ ☆	
		環境保護論	2	半期	講義		2		◆ ◇	
		環境アセスメント論	2	半期	講義		2			☆
		エコロジー	2	半期	講義		2		◆ ◇	
		自然科学入門	1	半期	講義・演習		2			
		環境生態デザイン	3	半期	講義		2		◇ ☆	
		フィールドワークA	3	半期	実習		1	注(7)	◆ ◇	
		フィールドワークB	3	半期	実習		1	注(7)	◆ ◇	
		ビオトープ論	3	半期	講義		2		◆ ◇ ☆	
		建築デザイン	3	半期	講義		2			☆
		環境教育	3	半期	講義		2			
		環境とツーリズム	3	半期	講義		2			
		環境とまちづくり	3	半期	講義		2		◆ ☆	
	(教職課程登録者以外も履修可能) 理科教職課程科目	国際関係と環境法	3・4	半期	講義		2			
		生物の基礎	2	半期	講義		2			
		物理の基礎Ⅰ	1	半期	講義		2			
		物理の基礎Ⅱ	2	半期	講義		2			
		化学の基礎Ⅰ	1	半期	講義		2			
		化学の基礎Ⅱ	2	半期	講義		2			
		地学の基礎	1	半期	講義		2			
		物理基礎実験	2	半期②	実験		2			
		化学基礎実験	2	半期②	実験		2			
		生物基礎実験	3	半期②	実験		2			
		地学基礎実験	3	半期②	実験		2			
	科目認定 留学	異文化理解Ⅰ	1・2・3・4	—	—		2			
		異文化理解Ⅱ	1・2・3・4	—	—		2			

(48)

注(1) この表は社会情報学科環境情報学専攻の専門教育科目に関する規定であって、全学共通科目については全学共通科目の項による。

注(2) 各科目の配当年次は、変更になることがあるので、授業時間割等で確認すること。

注(3) ◆印はビオトープ計画管理士2級試験一部免除に必要な科目。◇印はビオトープ施工管理士2級試験一部免除に必要な科目。☆印は二級建築士・木造建築士試験指定科目。

注(4) 社会情報学部他専攻の選択科目および専門特殊講義を履修し、修得した10単位までを、専門教育科目(選択)の卒業要件単位とすることができる。

注(5) 「社会情報学ゼミナールⅠ、Ⅱ及び建築・都市ゼミナールⅠ、Ⅱ」は全学共通科目及び学部共通・専門教育科目で合計50単位以上、「社会情報学ゼミナールⅢ、Ⅳ」及び「卒業研究」は全学共通科目及び学部共通・専門教育科目で合計96単位以上取得し、かつ、第2年次までの必修科目の単位をすべて取得(編入学生は除く)していることを履修の条件とする。

注(6) 「力とかたちⅡ」は専門選択科目の「力とかたちⅠ」を同時に履修登録すること。

注(7) 専門選択科目「フィールドワークA」と「フィールドワークB」は、同時に履修登録すること。

5 専門教育科目の卒業要件

社会情報学科 情報デザイン専攻

(2020 年度入学生から適用)

区分		授 業 科 目 名	配当年次	期間	講義・演習 等の別	単位数		先 修 条 件	卒業に必要な 単位数	
						必修	選択			
学部 共 通 科 目	必修	コ ン プ ュ ー タ の 基 礎	1	半期	講義	2			(10)	
		情 報 処 理 実 習 A	1	半期②	実習	2				
		情 報 処 理 実 習 B	1	半期②	実習	2				
		基 礎 社 会 学	1	半期	講義	2				
		情 報 基 礎 数 学	1	半期	講義	2				
	選択	基 礎 統 計 学	1	半期	講義・演習		2		(6)	
		ソ フ ト ウ ェ ア 概 論	1	半期	講義		2			
		現 代 経 済 学	1	半期	講義		2			
		社 会 情 報 概 論	2	半期	講義		2			
		情 報 社 会 論	2	半期	講義		2			
		コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 論	2	半期	講義		2			
		情 報 倫 理	2・3	半期	講義		2			
		社 会 政 策 ・ 労 働 問 題	2・3	半期	講義		2			
		情 報 セ キ ュ リ テ ィ 論	2・3	半期	講義		2			
		情 報 と 職 業	3・4	半期	講義		2			
		情 報 と 法 律	2・3	半期	講義		2			
		建 築 ・ 不 動 産 と 社 会	2	半期	講義		2			
		英 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン Ⅰ	3	半期	演習		2			
		英 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン Ⅱ	3	半期	演習		2			
専 門 教 育 科 目	必修	基礎情報	基礎情報	情 報 処 理 原 論	1	半期	講義	2		(40)
				情 報 数 学 A	1	半期	講義	2		
		システム コア	シス テム コア	情報システム論及び実習Ⅰ	3	半期	講義・実習	2		
				情報システム論及び実習Ⅱ	3	半期	講義・実習	2		
				プログラミング入門	1	半期	講義・演習	2		
				プログラミングの基礎	2	半期	講義・演習	2		
		システム コア	シス テム コア	プログラミング基礎演習	2	半期	講義・演習	2		
				プログラミング論及び演習	2	半期②	講義・演習	4		
		デザイン コア	デザ イン コア	デザイン論及び演習Ⅰ	1	半期	講義・演習	2		
				デザイン論及び演習Ⅱ	1	半期	講義・演習	2		
		総合学習	総合 学習	情報デザイン基礎演習	1	半期	演習	2		
				クリエイティブ思考法	2	半期	講義・演習	2		
				社会情報学ゼミナールⅠ	3	半期	演習	2	履修について②参照	
				社会情報学ゼミナールⅡ	3	半期	演習	2	履修について②参照	
				社会情報学ゼミナールⅢ	4	半期	演習	2	履修について②参照	
				社会情報学ゼミナールⅣ	4	半期	演習	2	履修について②参照	
		卒業研究	卒業研究	4	半期	—	6	履修について②参照		
	選択	情報基礎	情報 基礎	情 報 数 学 B	2	半期	講義		2	
				情 報 と モ デ ル	2・3・4	半期	講義		2	
				統 計 処 理 及 び 演 習	2・3	半期	講義・演習		2	
				応用統計論及び演習	2・3	半期	講義・演習		2	統計処理及び演習
				数 値 計 算 論	3	半期	講義		2	
				情 報 処 理 機 器 概 論	1・2	半期	講義		2	
		リテラシー メディア	リテラ シー メディア	スマートデバイス論	2	半期	講義		2	
				ニューメディア論Ⅰ	3	半期	講義		2	
				ニューメディア論Ⅱ	3	半期	講義		2	
				経営情報システム論	3・4	半期	講義		2	
		システム コア	シス テム コア	情報ネットワーク論及び実習Ⅰ	2・3	半期	講義・実習		2	
				情報ネットワーク論及び実習Ⅱ	2・3	半期	講義・実習		2	履修について③参照
				オフィスマネジメント論Ⅰ	2	半期	講義		2	
				オフィスマネジメント論Ⅱ	2	半期	講義		2	
				情 報 管 理	2・3	半期	講義		2	
				アルゴリズム論及び演習Ⅰ	3	半期	講義・演習		2	
				アルゴリズム論及び演習Ⅱ	3	半期	講義・演習		2	

区分	授 業 科 目 名			配当年次	期間	講義・演習 等の別	単位数		先 修 条 件	卒業に必要な 単位数
							必修	選択		
専 門 教 育 科 目	選 択	システム コア プログラミング	シミュレーション論	2・3・4	半期	講義		2		(34)
			スマートデバイス応用Ⅰ	3	半期	講義・演習		2		
			スマートデバイス応用Ⅱ	3	半期	講義・演習		2		
			オブジェクト指向プログラミング論及び演習Ⅰ	3	半期	講義・演習		2		
			オブジェクト指向プログラミング論及び演習Ⅱ	3	半期	講義・演習		2	オブジェクト指向プログラミング論及び演習Ⅰ	
			WebプログラミングⅠ	3	半期	講義・演習		2		
			WebプログラミングⅡ	3	半期	講義・演習		2	WebプログラミングⅠ	
		情報 デザイン コア	認 知 科 学	2	半期	講義		2		
			デジタルコンテンツ	2	半期	講義・演習		2		
			デジタルコンテンツ応用	2	半期	講義・演習		2		
			感性デザイン及び演習	3	半期	講義・演習		2		
			ウ エ ブ デ ザ イ ン	3	半期	講義・演習		2		
			音声・音響デザイン	3・4	半期	講義・演習		2		
	科 目 認 定	MM デザイン コア	インタフェースデザイン論	2	半期	講義・演習		2		
			マルチメディア論及び実習Ⅰ	2	半期	講義・実習		2		
			マルチメディア論及び実習Ⅱ	2	半期	講義・実習		2		
			コンピュータ・グラフィックスⅠ	3・4	半期	講義・演習		2		
			コンピュータ・グラフィックスⅡ	3・4	半期	講義・演習		2	コンピュータ・グラフィックスⅠ	
			画像情報処理論及び演習	3・4	半期	講義・演習		2		
			異 文 化 理 解 Ⅰ	1・2・3・4	—	—		2		
			異 文 化 理 解 Ⅱ	1・2・3・4	—	—		2		

注（１）この表は社会情報学科情報デザイン専攻の専門教育科目に関する規定であって、全学共通科目については全学共通科目の項による。

注（２）各科目の配当年次は、変更になることがあるので、授業時間割等で確認すること。

2 全学共通科目の卒業要件

比較文化学部

(2023年度入学生から適用)

区分		授 業 科 目 名	単位	期間	講義・ 演習等の別	配当 年次	卒 業 必 要 単 位 数			備考
							比較文化学科			
							必修	選択必修	選択	
基礎 科目	Ⅰ女性と キャンパスライフ	大 妻 教 養 講 座	1	半期	講義	1	1	2		
		大妻教養講座Ⅱ 卒業生から学ぶ	1	半期	講義	2				
		キャンパスライフとメンタルヘルス	2	半期	講義	1・2・3・4				
		女 性 と 健 康	2	半期	講義	1・2・3・4				
		ジェンダーと社会生活	2	半期	講義	1・2・3・4				
		女 性 史	2	半期	講義	1・2・3・4				
		リーダーシップ開発	2	半期	演習	2・3・4				
	Ⅱリテラシー	日 本 語 A (文 章 表 現)	2	半期	講義	1	4	2		
		日 本 語 B (口 頭 表 現)	2	半期	講義	1・2				
		日 本 語 C (読 解)	2	半期	講義	1				
		コ ン ピ ュ ー タ 基 礎 A	2	半期	演習	1				
		コ ン ピ ュ ー タ 基 礎 B	2	半期	演習	1				
		コ ン ピ ュ ー タ 応 用	2	半期	演習	1・2・3・4				
	Ⅲキャリア	データサイエンス・AI概論	2	半期	講義	1	2			
		キャリア・ディベロップメント・プログラムⅠ	2	半期	演習	1・2・3・4				
		キャリア・ディベロップメント・プログラムⅡ	2	半期	演習	2・3・4				
		キャリアデザインⅠ	2	半期	講義	1・2				
		キャリアデザインⅡ	2	半期	講義	2・3				
	キャリアデザインⅢ	2	半期	講義	3・4					
教養 科目	Ⅰ人間と文化	文 学 の 世 界	2	半期	講義	1・2・3・4				
		音 楽 の 世 界	2	半期	講義	1・2・3・4				
		美 術 の 世 界	2	半期	講義	1・2・3・4				
		映 像 ・ 演 劇 の 世 界	2	半期	講義	1・2・3・4				
		考 古 学 の 世 界	2	半期	講義	1・2・3・4				
		ポピュラー・カルチャーの世界	2	半期	講義	1・2・3・4				
		地 域 と 文 化	2	半期	講義	1・2・3・4				
		言 語 と 文 化	2	半期	講義	1・2・3・4				
		日 本 の 歴 史 と 文 化	2	半期	講義	1・2・3・4				
		世 界 の 歴 史 と 文 化	2	半期	講義	1・2・3・4				
		哲 学 と 思 想	2	半期	講義	1・2・3・4				
		日 本 文 化 ・ 事 情	2	半期	講義	1・2・3・4				
	Ⅱ社会と生活	子 ど も の 世 界	2	半期	講義	1・2・3・4	6	7		
		人 間 の 成 長 と 心 理	2	半期	講義	1・2・3・4				
		日 本 国 憲 法	2	半期	講義	1・2・3・4				
		法 律 と 現 代 社 会	2	半期	講義	1・2・3・4				
		政 治 と 現 代 社 会	2	半期	講義	1・2・3・4				
		経 済 と 現 代 社 会	2	半期	講義	1・2・3・4				
		メ デ ィ ア と 現 代 社 会	2	半期	講義	1・2・3・4				
		家 族 と 現 代 社 会	2	半期	講義	1・2・3・4				
		福祉と現代社会(ボランティアを含む)	2	半期	講義	1・2・3・4				
		SDGsと現代社会	2	半期	講義	1・2・3・4				
	Ⅲ自然と科学	数 学 の 世 界	2	半期	講義	1・2・3・4				
		生 活 の 物 理	2	半期	講義	1・2・3・4				
		生 活 の 化 学	2	半期	講義	1・2・3・4				
		科 学 と 環 境	2	半期	講義	1・2・3・4				
		生 命 の 科 学	2	半期	講義	1・2・3・4				
		宇 宙 の 科 学	2	半期	講義	1・2・3・4				
		人 類 の 進 化	2	半期	講義	1・2・3・4				
		自 然 科 学 の 歴 史	2	半期	講義	1・2・3・4				
	Ⅳスポーツ	ス ポ ー ツ A	1	半期	実技	1・2・3・4				
		ス ポ ー ツ B	1	半期	実技	1・2・3・4				
		ス ポ ー ツ C	1	半期	実技	1・2・3・4				
		ス ポ ー ツ D	1	半期	実技	1・2・3・4				
		シ ー ズ ン ・ ス ポ ー ツ	1	半期 (一学期中)	実技	1・2・3・4				
		ス ポ ー ツ と 健 康	2	半期	講義	1・2・3・4				
		レ ク リ エ ー シ ョ ン 論	2	半期	講義	1・2・3・4				
		レ ク リ エ ー シ ョ ン 実 技	1	半期	実技	1・2・3・4				

※外国人留学生優先

区 分	授 業 科 目 名	単位	期間	講義・演習等の別	配当 年次	卒 業 必 要 単 位 数			備 考
						比較文化学科			
						必修	選択必修	選択	
外国語科目	英 語 I A	1	半期	演習	1	10			
	英 語 I B	1	半期	演習	1				
	英 語 I C	1	半期	演習	1				
	英 語 I D	1	半期	演習	1				
	英 語 II A	1	半期	演習	2				
	英 語 II B	1	半期	演習	2				
	英 語 II C	1	半期	演習	2				
	英 語 II D	1	半期	演習	2				
	英 語 III A	1	半期	演習	2				
	英 語 III B	1	半期	演習	2				
	フ ラ ン ス 語 I	1	半期	演習	1・2				
	フ ラ ン ス 語 II	1	半期	演習	1・2				
	フ ラ ン ス 語 III	1	半期	演習	1・2				
	フ ラ ン ス 語 IV	1	半期	演習	1・2				
	ド イ ツ 語 I	1	半期	演習	1・2				
	ド イ ツ 語 II	1	半期	演習	1・2				
	ド イ ツ 語 III	1	半期	演習	1・2				
	ド イ ツ 語 IV	1	半期	演習	1・2				
	ス ベ イ ン 語 I	1	半期	演習	1・2	4			
	ス ベ イ ン 語 II	1	半期	演習	1・2				
	ス ベ イ ン 語 III	1	半期	演習	1・2				
	ス ベ イ ン 語 IV	1	半期	演習	1・2				
	ロ シ ア 語 I	1	半期	演習	1・2				
	ロ シ ア 語 II	1	半期	演習	1・2				
	ロ シ ア 語 III	1	半期	演習	1・2				
	ロ シ ア 語 IV	1	半期	演習	1・2				
	中 国 語 I	1	半期	演習	1・2				
	中 国 語 II	1	半期	演習	1・2				
	中 国 語 III	1	半期	演習	1・2				
	中 国 語 IV	1	半期	演習	1・2				
	韓 国 語 I	1	半期	演習	1・2				
	韓 国 語 II	1	半期	演習	1・2				
韓 国 語 III	1	半期	演習	1・2					
韓 国 語 IV	1	半期	演習	1・2					
日 本 語 I	1	半期	演習	1・2				※外国人留学生対象	
日 本 語 II	1	半期	演習	1・2					
日 本 語 III	1	半期	演習	2・3					
日 本 語 IV	1	半期	演習	2・3					
国際理解科目・ 地域文化	地 域 文 化 理 解 I	2	集中	演習	1・2・3・4				
	地 域 文 化 理 解 II	2	集中	演習	1・2・3・4				
	地 域 文 化 理 解 III	2	集中	演習	1・2・3・4				
	国 際 理 解（海外研修）I	2	集中	演習	1・2・3・4				
	国 際 理 解（海外研修）II	2	集中	演習	1・2・3・4				
	国 際 理 解（海外研修）III	2	集中	演習	1・2・3・4				
	国 際 理 解（海外研修）IV	1	集中	演習	1・2・3・4				
	国 際 理 解（海外研修）V	1	集中	演習	1・2・3・4				
最低履修単位数						15	16	7	
						38			

注（１）この表は、全学共通科目の卒業要件である。専門教育科目については、各学科の項を参照すること。

注（２）上記の全学共通科目の配当年次は変更になることがあるので、授業時間割で確認すること。



大妻女子大学

OTSUMA WOMEN'S UNIVERSITY 2023

履修ガイド

人間関係学部

1 全学共通科目について

大妻教養講座について

「大妻教養講座」は本学の特色ある必修科目です。皆さんの母校となる大妻女子大学がどのような建学の精神・伝統・特質を持っているかを学び、皆さんが誇りと自信をもって本学での学生生活を送ることができるように応援します。さらに入学された皆さんが、本学で何をどう学ぶかという入門講座の役割も果たします。また、「大妻教養講座Ⅱ 卒業生から学ぶ」は2年次配当の選択科目で、「大妻教養講座」での学びを踏まえ、卒業生による講演を中心とした授業により将来像のロールモデルを見つけ、大学学修における一助となることを目的に開講します。

データサイエンス・AIプログラムについて（令和5年度新設）

文理を問わず数理・データサイエンス・AIの基礎的な知識・技術について学び、データ分析において重要な概念を身につけ、身近な問題解決に活かすスキルを持つ人材を育成することを目的とした教育プログラムです。卒業までに指定科目を履修し単位修得することがプログラムの修了要件です。

教育プログラムの指定科目（合計2科目4単位を修得）

人間関係学部	「コンピュータ基礎B」（2単位）と「データサイエンス・AI概論」（2単位）
--------	---------------------------------------

地域文化・国際理解科目について

「地域文化理解」・「国際理解（海外研修）」の単位を修得する学生は、本学が指定した地域連携プログラムや留学プログラムなどに参加し、一定の成績を修めなければなりません。

なお、履修登録の方法については、通常と異なりますので、掲示等で確認してください。

他キャンパス履修について

自分が所属するキャンパス以外（千代田キャンパス）で開講の全学共通科目を履修することができます。ただし、受講者調整の関係から、後期開講科目のみ履修することになり、履修登録は後期履修登録時に行います。

単位互換について

本学と単位互換協定を締結している大学等の科目を履修し修得した単位について、必要に応じて本学開設科目の「教養特殊講義」あるいは「外国語特殊演習」として、それぞれ教養科目区分、外国語科目区分の単位として認定されます。

諸課程履修者に関わる単位の取り扱いについて

図書館司書課程、博物館学芸員課程において修得した単位を以下の表のとおり、卒業要件の単位数として認めます。

これにより修得した単位は、卒業に必要な全学共通科目の選択科目の単位数に含めることができます。ただし、2つ以上の課程を履修する者は8単位を上限とします。

学 部	対象科目	卒業要件として認められる単位数
人間関係学部	図書館司書課程科目	4単位
	博物館学芸員課程科目（全学共通科目除く）	4単位

大妻女子大学短期大学部での単位修得について

大妻女子大学（四年制）と大妻女子大学短期大学部は、法令上では別の大学として扱われ、全学共通科目も別々に開講しています。

しかし、大学と短期大学相互の協力交流を通じて教育課程の充実をはかり、学生の幅広い視野の育成と学習意欲の向上を目的とした協定を締結することで、一定の範囲内で、お互いの全学共通科目を履修できるようになっています。履修できる科目等の詳細は、履修登録期間の掲示等でお知らせします。また、「大妻女子大学短期大学部単位互換」で修得した単位は、卒業要件として認定できます。

人間関係学部	全学共通科目の選択科目として、社会学専攻は9単位、社会・臨床心理学専攻は15単位、人間福祉学科は6単位まで認める
--------	--

1 人間関係学部 人間関係学科 社会学専攻 全学共通科目

(令和5年度入学生から適用)

区分		授 業 科 目 名	単位	期間	講義・ 演習等の別	配当 年次	卒 業 必 要 単 位 数			備考
							人間関係学科			
							社会学専攻			
							必修	選択必修	選択	
基礎科目	Ⅰ女性とキャンパスライフ	大 妻 教 養 講 座	1	半期	講義	1	1	2		
		大妻教養講座Ⅱ 卒業生から学ぶ	1	半期	講義	2				
		キャンパスライフとメンタルヘルス	2	半期	講義	1・2・3・4				
		女 性 と 健 康	2	半期	講義	1・2・3・4				
		ジェンダーと社会生活	2	半期	講義	1・2・3・4				
		女 性 史	2	半期	講義	1・2・3・4				
		リーダーシップ開発	2	半期	演習	2・3・4				
	Ⅱリテラシー	日 本 語 A (文 章 表 現)	2	半期	講義	1	2			
		日 本 語 B (口 頭 表 現)	2	半期	講義	1・2				
		日 本 語 C (読 解)	2	半期	講義	1				
		コ ン ピ ュ ー タ 基 礎 A	2	半期	演習	1				
		コ ン ピ ュ ー タ 基 礎 B	2	半期	演習	1				
		コ ン ピ ュ ー タ 応 用	2	半期	演習	1・2・3・4				
	データサイエンス・AI概論	2	半期	講義	1	2				
	Ⅲキャリア	キャリア・ディベロップメント・プログラムⅠ	2	半期	演習					1・2・3・4
		キャリア・ディベロップメント・プログラムⅡ	2	半期	演習					2・3・4
		キャリアデザインⅠ	2	半期	講義					1・2
		キャリアデザインⅡ	2	半期	講義					2・3
		キャリアデザインⅢ	2	半期	講義	3・4				
教養科目	Ⅰ人間と文化	文 学 の 世 界	2	半期	講義	1・2・3・4				
		音 楽 の 世 界	2	半期	講義	1・2・3・4				
		美 術 の 世 界	2	半期	講義	1・2・3・4				
		映 像 ・ 演 劇 の 世 界	2	半期	講義	1・2・3・4				
		考 古 学 の 世 界	2	半期	講義	1・2・3・4				
		ポピュラー・カルチャーの世界	2	半期	講義	1・2・3・4				
		地 域 と 文 化	2	半期	講義	1・2・3・4				
		言 語 と 文 化	2	半期	講義	1・2・3・4				
		日 本 の 歴 史 と 文 化	2	半期	講義	1・2・3・4				
		世 界 の 歴 史 と 文 化	2	半期	講義	1・2・3・4				
		哲 学 と 思 想	2	半期	講義	1・2・3・4				
		日 本 文 化 ・ 事 情	2	半期	講義	1・2・3・4				
	Ⅱ社会と生活	子 ど も の 世 界	2	半期	講義	1・2・3・4	10	9		
		人 間 の 成 長 と 心 理	2	半期	講義	1・2・3・4				
		日 本 国 憲 法	2	半期	講義	1・2・3・4				
		法 律 と 現 代 社 会	2	半期	講義	1・2・3・4				
		政 治 と 現 代 社 会	2	半期	講義	1・2・3・4				
		経 済 と 現 代 社 会	2	半期	講義	1・2・3・4				
		メ デ ィ ア と 現 代 社 会	2	半期	講義	1・2・3・4				
		家 族 と 現 代 社 会	2	半期	講義	1・2・3・4				
		福祉と現代社会(ボランティアを含む)	2	半期	講義	1・2・3・4				
	SDGsと現代社会	2	半期	講義	1・2・3・4					
	Ⅲ自然と科学	数 学 の 世 界	2	半期	講義					1・2・3・4
		生 活 の 物 理	2	半期	講義					1・2・3・4
		生 活 の 化 学	2	半期	講義					1・2・3・4
		科 学 と 環 境	2	半期	講義					1・2・3・4
		生 命 の 科 学	2	半期	講義					1・2・3・4
宇 宙 の 科 学		2	半期	講義	1・2・3・4					
人 類 の 進 化	2	半期	講義	1・2・3・4						
自 然 科 学 の 歴 史	2	半期	講義	1・2・3・4						

外国人留学生優先

区分		授 業 科 目 名	単位	期間	講義・ 演習等の別	配当 年次	卒 業 必 要 単 位 数			備考					
							人間関係学科								
							社会学専攻								
							必修	選択必修	選択						
教 養 科 目	Ⅳ ス ポ ー ツ	ス ポ ー ツ A	1	半期	実技	1・2・3・4									
		ス ポ ー ツ B	1	半期	実技	1・2・3・4									
		ス ポ ー ツ C	1	半期	実技	1・2・3・4									
		ス ポ ー ツ D	1	半期	実技	1・2・3・4									
		シ ー ズ ン・ス ポ ー ツ	1	半期 (一部集中)	実技	1・2・3・4									
		ス ポ ー ツ と 健 康	2	半期	講義	1・2・3・4									
		レ ク リ エ ー シ ョ ン 論	2	半期	講義	1・2・3・4									
		レ ク リ エ ー シ ョ ン 実 技	1	半期	実技	1・2・3・4									
外国語科目	英 語 I A	1	半期	演習	1	6									
	英 語 I B	1	半期	演習	1										
	英 語 I C	1	半期	演習	1										
	英 語 I D	1	半期	演習	1										
	英 語 II A	1	半期	演習	2										
	英 語 II B	1	半期	演習	2										
	英 語 II C	1	半期	演習	2										
	英 語 II D	1	半期	演習	2										
	英 語 III A	1	半期	演習	2										
	英 語 III B	1	半期	演習	2										
	フ ラ ン ス 語 I	1	半期	演習	1・2										
	フ ラ ン ス 語 II	1	半期	演習	1・2										
	フ ラ ン ス 語 III	1	半期	演習	2・3										
	フ ラ ン ス 語 IV	1	半期	演習	2・3										
	ド イ ツ 語 I	1	半期	演習	1・2										
	ド イ ツ 語 II	1	半期	演習	1・2										
	ド イ ツ 語 III	1	半期	演習	2・3										
	ド イ ツ 語 IV	1	半期	演習	2・3										
	ス ベ イ ン 語 I	1	半期	演習	1・2										
	ス ベ イ ン 語 II	1	半期	演習	1・2										
	ス ベ イ ン 語 III	1	半期	演習	2・3										
	ス ベ イ ン 語 IV	1	半期	演習	2・3										
	ロ シ ア 語 I	1	半期	演習	1・2										
	ロ シ ア 語 II	1	半期	演習	1・2										
	ロ シ ア 語 III	1	半期	演習	2・3					千代田キャンパスのみ開講					
	ロ シ ア 語 IV	1	半期	演習	2・3										
	中 国 語 I	1	半期	演習	1・2										
	中 国 語 II	1	半期	演習	1・2										
	中 国 語 III	1	半期	演習	2・3										
	中 国 語 IV	1	半期	演習	2・3										
	韓 国 語 I	1	半期	演習	1・2										
	韓 国 語 II	1	半期	演習	1・2										
	韓 国 語 III	1	半期	演習	2・3										
	韓 国 語 IV	1	半期	演習	2・3										
	日 本 語 I	1	半期	演習	1・2										
	日 本 語 II	1	半期	演習	1・2										
	日 本 語 III	1	半期	演習	2・3										
	日 本 語 IV	1	半期	演習	2・3										
地域文化・国際理解科目	地 域 文 化 理 解 I	2	集中	演習	1・2・3・4										
	地 域 文 化 理 解 II	2	集中	演習	1・2・3・4										
	地 域 文 化 理 解 III	2	集中	演習	1・2・3・4										
	国 際 理 解（海外研修）I	2	集中	演習	1・2・3・4										
	国 際 理 解（海外研修）II	2	集中	演習	1・2・3・4										
	国 際 理 解（海外研修）III	2	集中	演習	1・2・3・4										
	国 際 理 解（海外研修）IV	1	集中	演習	1・2・3・4										
	国 際 理 解（海外研修）V	1	集中	演習	1・2・3・4										
最低履修単位数							7	16	9						
							32								

1 人間関係学部 人間関係学科 社会・臨床心理学専攻 全学共通科目

(令和5年度入学生から適用)

区分		授 業 科 目 名	単位	期間	講義・ 演習等の別	配当 年次	卒 業 必 要 単 位 数			備考
							人間関係学科			
							社会・臨床心理学専攻			
							必修	選択必修	選択	
基礎科目	Ⅰ女性とキャンパスライフ	大 妻 教 養 講 座	1	半期	講義	1	□ 1	2		
		大妻教養講座Ⅱ 卒業生から学ぶ	1	半期	講義	2				
		キャンパスライフとメンタルヘルス	2	半期	講義	1・2・3・4				
		女 性 と 健 康	2	半期	講義	1・2・3・4				
		ジェンダーと社会生活	2	半期	講義	1・2・3・4				
		女 性 史	2	半期	講義	1・2・3・4				
		リーダーシップ開発	2	半期	演習	2・3・4				
	Ⅱリテラシー	日 本 語 A (文 章 表 現)	2	半期	講義	1	2			
		日 本 語 B (口 頭 表 現)	2	半期	講義	1・2				
		日 本 語 C (読 解)	2	半期	講義	1				
		コ ン プ ュ ー タ 基 礎 A	2	半期	演習	1				
		コ ン プ ュ ー タ 基 礎 B	2	半期	演習	1				
		コ ン プ ュ ー タ 応 用	2	半期	演習	1・2・3・4				
	データサイエンス・AI概論	2	半期	講義	1	2				
	Ⅲキャリア	キャリア・ディベロップメント・プログラムⅠ	2	半期	演習					1・2・3・4
		キャリア・ディベロップメント・プログラムⅡ	2	半期	演習					2・3・4
		キャリアデザインⅠ	2	半期	講義					1・2
		キャリアデザインⅡ	2	半期	講義					2・3
		キャリアデザインⅢ	2	半期	講義	3・4				
教養科目	Ⅰ人間と文化	文 学 の 世 界	2	半期	講義	1・2・3・4	2			
		音 楽 の 世 界	2	半期	講義	1・2・3・4				
		美 術 の 世 界	2	半期	講義	1・2・3・4				
		映 像 ・ 演 劇 の 世 界	2	半期	講義	1・2・3・4				
		考 古 学 の 世 界	2	半期	講義	1・2・3・4				
		ポピュラー・カルチャーの世界	2	半期	講義	1・2・3・4				
		地 域 と 文 化	2	半期	講義	1・2・3・4				
		言 語 と 文 化	2	半期	講義	1・2・3・4				
		日 本 の 歴 史 と 文 化	2	半期	講義	1・2・3・4				
		世 界 の 歴 史 と 文 化	2	半期	講義	1・2・3・4				
		哲 学 と 思 想	2	半期	講義	1・2・3・4				
		日 本 文 化 ・ 事 情	2	半期	講義	1・2・3・4				
	Ⅱ社会と生活	子 ど も の 世 界	2	半期	講義	1・2・3・4	2 2	15		外国人留学生優先
		人 間 の 成 長 と 心 理	2	半期	講義	1・2・3・4				
		日 本 国 憲 法	2	半期	講義	1・2・3・4				
		法 律 と 現 代 社 会	2	半期	講義	1・2・3・4				
		政 治 と 現 代 社 会	2	半期	講義	1・2・3・4				
		経 済 と 現 代 社 会	2	半期	講義	1・2・3・4				
		メ デ ィ ア と 現 代 社 会	2	半期	講義	1・2・3・4				
		家 族 と 現 代 社 会	2	半期	講義	1・2・3・4				
		福祉と現代社会(ボランティアを含む)	2	半期	講義	1・2・3・4				
		SDGsと現代社会	2	半期	講義	1・2・3・4				
	Ⅲ自然と科学	数 学 の 世 界	2	半期	講義	1・2・3・4	2			
		生 活 の 物 理	2	半期	講義	1・2・3・4				
		生 活 の 化 学	2	半期	講義	1・2・3・4				
		科 学 と 環 境	2	半期	講義	1・2・3・4				
		生 命 の 科 学	2	半期	講義	1・2・3・4				
宇 宙 の 科 学		2	半期	講義	1・2・3・4					
人 類 の 進 化		2	半期	講義	1・2・3・4					
自然科学の歴史	2	半期	講義	1・2・3・4						

外国人留学生優先

区分		授 業 科 目 名	単位	期間	講義・演習等の別	配当 年次	卒 業 必 要 単 位 数			備考	
							人間関係学科				
							社会・臨床心理学専攻				
							必修	選択必修	選択		
教 養 科 目	Ⅳスポーツ	ス ポ ー ツ A	1	半期	実技	1・2・3・4	2				
		ス ポ ー ツ B	1	半期	実技	1・2・3・4					
		ス ポ ー ツ C	1	半期	実技	1・2・3・4					
		ス ポ ー ツ D	1	半期	実技	1・2・3・4					
		シ ー ズ ン・ス ポ ー ツ	1	半期 (一学期中)	実技	1・2・3・4					
		ス ポ ー ツ と 健 康	2	半期	講義	1・2・3・4					
		レ ク リ エ ー シ ョ ン 論	2	半期	講義	1・2・3・4					
		レ ク リ エ ー シ ョ ン 実 技	1	半期	実技	1・2・3・4					
外国語科目	英 語 I A	1	半期	演習	1	6					
	英 語 I B	1	半期	演習	1						
	英 語 I C	1	半期	演習	1						
	英 語 I D	1	半期	演習	1						
	英 語 II A	1	半期	演習	2						
	英 語 II B	1	半期	演習	2						
	英 語 II C	1	半期	演習	2						
	英 語 II D	1	半期	演習	2						
	英 語 III A	1	半期	演習	2						
	英 語 III B	1	半期	演習	2						
	フ ラ ン ス 語 I	1	半期	演習	1・2						
	フ ラ ン ス 語 II	1	半期	演習	1・2						
	フ ラ ン ス 語 III	1	半期	演習	2・3						
	フ ラ ン ス 語 IV	1	半期	演習	2・3						
	ド イ ツ 語 I	1	半期	演習	1・2						
	ド イ ツ 語 II	1	半期	演習	1・2						
	ド イ ツ 語 III	1	半期	演習	2・3					千代田キャンパスのみ開講	
	ド イ ツ 語 IV	1	半期	演習	2・3						
	ス ベ イ ン 語 I	1	半期	演習	1・2						
	ス ベ イ ン 語 II	1	半期	演習	1・2						
	ス ベ イ ン 語 III	1	半期	演習	2・3						
	ス ベ イ ン 語 IV	1	半期	演習	2・3						
	ロ シ ア 語 I	1	半期	演習	1・2						
	ロ シ ア 語 II	1	半期	演習	1・2						
	ロ シ ア 語 III	1	半期	演習	2・3						
	ロ シ ア 語 IV	1	半期	演習	2・3						
	中 国 語 I	1	半期	演習	1・2						
	中 国 語 II	1	半期	演習	1・2						
	中 国 語 III	1	半期	演習	2・3						
	中 国 語 IV	1	半期	演習	2・3						
	韓 国 語 I	1	半期	演習	1・2						
	韓 国 語 II	1	半期	演習	1・2						
	韓 国 語 III	1	半期	演習	2・3						
	韓 国 語 IV	1	半期	演習	2・3						
	日 本 語 I	1	半期	演習	1・2					外国人留学生対象	
	日 本 語 II	1	半期	演習	1・2						
	日 本 語 III	1	半期	演習	2・3						
	日 本 語 IV	1	半期	演習	2・3						
地域文化・国際理解科目	地 域 文 化 理 解 I	2	集中	演習	1・2・3・4	7	16	15			
	地 域 文 化 理 解 II	2	集中	演習	1・2・3・4						
	地 域 文 化 理 解 III	2	集中	演習	1・2・3・4						
	国 際 理 解（海外研修）I	2	集中	演習	1・2・3・4						
	国 際 理 解（海外研修）II	2	集中	演習	1・2・3・4						
	国 際 理 解（海外研修）III	2	集中	演習	1・2・3・4						
	国 際 理 解（海外研修）IV	1	集中	演習	1・2・3・4						
	国 際 理 解（海外研修）V	1	集中	演習	1・2・3・4						
	最低履修単位数									38	

1 人間関係学部 人間福祉学科 全学共通科目

(令和5年度入学生から適用)

区分		授 業 科 目 名	単位	期間	講義・演習等の別	配当 年次	卒 業 必 要 単 位 数			備考
							人間福祉学科			
							必修	選択必修	選択	
基礎科目	Ⅰ女性とキャンパスライフ	大 妻 教 養 講 座	1	半期	講義	1	□ 1	2		
		大妻教養講座Ⅱ 卒業生から学ぶ	1	半期	講義	2				
		キャンパスライフとメンタルヘルス	2	半期	講義	1・2・3・4				
		女 性 と 健 康	2	半期	講義	1・2・3・4				
		ジェンダーと社会生活	2	半期	講義	1・2・3・4				
		女 性 史	2	半期	講義	1・2・3・4				
		リーダーシップ開発	2	半期	演習	2・3・4				
	Ⅱリテラシー	日 本 語 A (文 章 表 現)	2	半期	講義	1	2			
		日 本 語 B (口 頭 表 現)	2	半期	講義	1・2				
		日 本 語 C (読 解)	2	半期	講義	1				
		コ ン プ ュ ー タ 基 礎 A	2	半期	演習	1				
		コ ン プ ュ ー タ 基 礎 B	2	半期	演習	1				
		コ ン プ ュ ー タ 応 用	2	半期	演習	1・2・3・4				
	データサイエンス・AI概論	2	半期	講義	1	2				
	Ⅲキャリア	キャリア・ディベロップメント・プログラムⅠ	2	半期	演習					1・2・3・4
		キャリア・ディベロップメント・プログラムⅡ	2	半期	演習					2・3・4
		キャリアデザインⅠ	2	半期	講義					1・2
		キャリアデザインⅡ	2	半期	講義					2・3
キャリアデザインⅢ		2	半期	講義	3・4					
教養科目	Ⅰ人間と文化	文 学 の 世 界	2	半期	講義	1・2・3・4	2			
		音 楽 の 世 界	2	半期	講義	1・2・3・4				
		美 術 の 世 界	2	半期	講義	1・2・3・4				
		映 像 ・ 演 劇 の 世 界	2	半期	講義	1・2・3・4				
		考 古 学 の 世 界	2	半期	講義	1・2・3・4				
		ポピュラー・カルチャーの世界	2	半期	講義	1・2・3・4				
		地 域 と 文 化	2	半期	講義	1・2・3・4				
		言 語 と 文 化	2	半期	講義	1・2・3・4				
		日 本 の 歴 史 と 文 化	2	半期	講義	1・2・3・4				
		世 界 の 歴 史 と 文 化	2	半期	講義	1・2・3・4				
	Ⅱ社会と生活	哲 学 と 思 想	2	半期	講義	1・2・3・4	2	6		外国人留学生優先
		日 本 文 化 ・ 事 情	2	半期	講義	1・2・3・4				
		子 ど も の 世 界	2	半期	講義	1・2・3・4				
		人 間 の 成 長 と 心 理	2	半期	講義	1・2・3・4				
		日 本 国 憲 法	2	半期	講義	1・2・3・4				
		法 律 と 現 代 社 会	2	半期	講義	1・2・3・4				
		政 治 と 現 代 社 会	2	半期	講義	1・2・3・4				
		経 済 と 現 代 社 会	2	半期	講義	1・2・3・4				
		メ デ ィ ア と 現 代 社 会	2	半期	講義	1・2・3・4				
		家 族 と 現 代 社 会	2	半期	講義	1・2・3・4				
Ⅲ自然と科学	福祉と現代社会(ボランティアを含む)	2	半期	講義	1・2・3・4	2				
	SDGsと現代社会	2	半期	講義	1・2・3・4					
	数 学 の 世 界	2	半期	講義	1・2・3・4					
	生 活 の 物 理	2	半期	講義	1・2・3・4					
	生 活 の 化 学	2	半期	講義	1・2・3・4					
	科 学 と 環 境	2	半期	講義	1・2・3・4					
	生 命 の 科 学	2	半期	講義	1・2・3・4					
	宇 宙 の 科 学	2	半期	講義	1・2・3・4					
人 類 の 進 化	2	半期	講義	1・2・3・4						
自 然 科 学 の 歴 史	2	半期	講義	1・2・3・4						

外国人留学生優先

区分		授 業 科 目 名	単位	期間	講義・演習等の別	配当 年次	卒 業 必 要 単 位 数			備考
							人間福祉学科			
							必修	選択必修	選択	
教 養 科 目	Ⅳスポーツ	ス ポ ー ツ A	1	半期	実技	1・2・3・4	1			
		ス ポ ー ツ B	1	半期	実技	1・2・3・4				
		ス ポ ー ツ C	1	半期	実技	1・2・3・4				
		ス ポ ー ツ D	1	半期	実技	1・2・3・4				
		シ ー ズ ン・ス ポ ー ツ	1	半期 (一部集中)	実技	1・2・3・4				
		ス ポ ー ツ と 健 康	2	半期	講義	1・2・3・4				
		レ ク リ エ ー シ ョ ン 論	2	半期	講義	1・2・3・4				
		レ ク リ エ ー シ ョ ン 実 技	1	半期	実技	1・2・3・4				
外国語科目	英 語 I A	1	半期	演習	1	6				
	英 語 I B	1	半期	演習	1					
	英 語 I C	1	半期	演習	1					
	英 語 I D	1	半期	演習	1					
	英 語 II A	1	半期	演習	2					
	英 語 II B	1	半期	演習	2					
	英 語 II C	1	半期	演習	2					
	英 語 II D	1	半期	演習	2					
	英 語 III A	1	半期	演習	2					
	英 語 III B	1	半期	演習	2					
	フ ラ ン ス 語 I	1	半期	演習	1・2					
	フ ラ ン ス 語 II	1	半期	演習	1・2					
	フ ラ ン ス 語 III	1	半期	演習	2・3					
	フ ラ ン ス 語 IV	1	半期	演習	2・3					
	ド イ ツ 語 I	1	半期	演習	1・2					
	ド イ ツ 語 II	1	半期	演習	1・2					
	ド イ ツ 語 III	1	半期	演習	2・3					千代田キャンパスのみ開講
	ド イ ツ 語 IV	1	半期	演習	2・3					
	ス ベ イ ン 語 I	1	半期	演習	1・2					
	ス ベ イ ン 語 II	1	半期	演習	1・2					
	ス ベ イ ン 語 III	1	半期	演習	2・3					
	ス ベ イ ン 語 IV	1	半期	演習	2・3					
	ロ シ ア 語 I	1	半期	演習	1・2					
	ロ シ ア 語 II	1	半期	演習	1・2					
	ロ シ ア 語 III	1	半期	演習	2・3					
	ロ シ ア 語 IV	1	半期	演習	2・3					
	中 国 語 I	1	半期	演習	1・2					
	中 国 語 II	1	半期	演習	1・2					
	中 国 語 III	1	半期	演習	2・3					
	中 国 語 IV	1	半期	演習	2・3					
	韓 国 語 I	1	半期	演習	1・2					
	韓 国 語 II	1	半期	演習	1・2					
	韓 国 語 III	1	半期	演習	2・3					
	韓 国 語 IV	1	半期	演習	2・3					
	日 本 語 I	1	半期	演習	1・2					外国人留学生対象
	日 本 語 II	1	半期	演習	1・2					
	日 本 語 III	1	半期	演習	2・3					
	日 本 語 IV	1	半期	演習	2・3					
地域文化・国際理解科目	地 域 文 化 理 解 I	2	集中	演習	1・2・3・4	7	13	6		
	地 域 文 化 理 解 II	2	集中	演習	1・2・3・4					
	地 域 文 化 理 解 III	2	集中	演習	1・2・3・4					
	国 際 理 解（海外研修）I	2	集中	演習	1・2・3・4					
	国 際 理 解（海外研修）II	2	集中	演習	1・2・3・4					
	国 際 理 解（海外研修）III	2	集中	演習	1・2・3・4					
	国 際 理 解（海外研修）IV	1	集中	演習	1・2・3・4					
	国 際 理 解（海外研修）V	1	集中	演習	1・2・3・4					
	最低履修単位数									
						26				

情報リテラシー教育検討部会内規

令和5年6月5日 制定

(趣旨)

第1条 この内規は、大妻女子大学全学共通科目調整委員会規程(令和4年2月8日制定)

第6条に基づき、情報リテラシー教育検討部会(以下「部会」という。)の組織及び運営に関し必要な事項を定める。

(所掌事項)

第2条 部会は、大妻女子大学全学共通科目調整委員会(以下「調整委員会」という。)の運営方針に基づき、次の各号に掲げる事項に関する業務を行う。

- (1) 全学共通科目の基礎科目区分Ⅱリテラシーのうち、情報リテラシー科目の企画・運営・人事等に関する事項
- (2) 大妻データサイエンス・AIプログラムの自己点検・評価および改善に関する事項
- (3) 部会内規の改廃に関する事項
- (4) その他、調整委員会委員長からの依頼事項

(組織)

第3条 部会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 調整委員会委員長の指名する専任教員 若干名
- (2) 教育支援センター部長
- (3) 教育支援グループ課長
- (4) メディア教育開発グループ課長
- (5) その他部会長の推薦する者 若干名

2 第1項第1号、第5号の委員の任期は、1年とする。ただし、再任を妨げない。

(部会長)

第4条 部会に部会長及び副部会長を置く。

- 2 部会長及び副部会長は調整委員会委員長が指名する。
- 3 部会長は部会を代表し、その業務を掌理する。
- 4 部会長に事故あるときは、副部会長がその職務を代行する。

(会議)

第5条 部会長は、必要に応じて部会を招集し、その議長となる。

- 2 部会は、委員の過半数の出席をもって成立する。
- 3 議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。
- 4 部会長が必要と認めるときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聴取することができる。
- 5 部会で検討した事項は、必要に応じ、調整委員会の承認を得るものとする。

(委員以外の出席)

第6条 次の各号の者は部会に出席して意見を述べることができる。

- (1) 調整委員会委員長
- (2) 部会の同意を得て部会長が必要と認めた者

(庶務)

第7条 部会の庶務は、教育支援センターメディア教育開発グループが行う。

(補則)

第8条 この内規に定めるもののほか、部会の運営に関して必要な事項は、部会で定め、調整委員会に報告する。

(内規の改廃)

第9条 この内規の改廃は、調整委員会において行う。

附 則 (令和5年6月5日 全学共通科目調整委員会)

この内規は、令和5年6月5日から施行する。

情報リテラシー教育検討部会内規

令和5年6月5日 制定

(趣旨)

第1条 この内規は、大妻女子大学全学共通科目調整委員会規程（令和4年2月8日制定）

第6条に基づき、情報リテラシー教育検討部会（以下「部会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定める。

(所掌事項)

第2条 部会は、大妻女子大学全学共通科目調整委員会（以下「調整委員会」という。）の運営方針に基づき、次の各号に掲げる事項に関する業務を行う。

- (1) 全学共通科目の基礎科目区分Ⅱリテラシーのうち、情報リテラシー科目の企画・運営・人事等に関する事項
- (2) 大妻データサイエンス・AIプログラムの自己点検・評価および改善に関する事項
- (3) 部会内規の改廃に関する事項
- (4) その他、調整委員会委員長からの依頼事項

(組織)

第3条 部会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 調整委員会委員長の指名する専任教員 若干名
- (2) 教育支援センター部長
- (3) 教育支援グループ課長
- (4) メディア教育開発グループ課長
- (5) その他部会長の推薦する者 若干名

2 第1項第1号、第5号の委員の任期は、1年とする。ただし、再任を妨げない。

(部会長)

第4条 部会に部会長及び副部会長を置く。

- 2 部会長及び副部会長は調整委員会委員長が指名する。
- 3 部会長は部会を代表し、その業務を掌理する。
- 4 部会長に事故あるときは、副部会長がその職務を代行する。

(会議)

第5条 部会長は、必要に応じて部会を招集し、その議長となる。

- 2 部会は、委員の過半数の出席をもって成立する。
- 3 議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。
- 4 部会長が必要と認めるときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聴取することができる。
- 5 部会で検討した事項は、必要に応じ、調整委員会の承認を得るものとする。

(委員以外の出席)

第6条 次の各号の者は部会に出席して意見を述べることができる。

- (1) 調整委員会委員長
- (2) 部会の同意を得て部会長が必要と認めた者

(庶務)

第7条 部会の庶務は、教育支援センターメディア教育開発グループが行う。

(補則)

第8条 この内規に定めるもののほか、部会の運営に関して必要な事項は、部会で定め、調整委員会に報告する。

(内規の改廃)

第9条 この内規の改廃は、調整委員会において行う。

附 則（令和5年6月5日 全学共通科目調整委員会）

この内規は、令和5年6月5日から施行する。

大学等名	大妻女子大学		申請レベル	リテラシーレベル
教育プログラム名	大妻データサイエンス・AIプログラム		申請年度	令和 6 年度

プログラムの目的

データサイエンスとは、現代社会のあらゆる分野で蓄積されているさまざまなデータを収集・分析し、有効に活用する学問です。変化を続ける現代社会では、自らが研究したい専門分野の知識に加えて、データ処理能力や分析力を身につけた人材が求められています。「大妻データサイエンス・AIプログラム」は、数理・データサイエンス・AIの基礎的な知識・技術について学び、データ分析において重要な概念を身につけ、身近な問題解決に活かすスキルを持つ人材を育成することを目的とした教育プログラムです。このプログラムの修了者には、数理・データサイエンス・AIの基礎的な知識・技術について学び、身につけた者として、オープンバッジ（デジタル修了証）を授与しています。



オープンバッジ

身に付けられる能力

- ・データサイエンスやAIが身近にあるさまざまな事象とどのように関係しているかを学び、それらを活用することの楽しさや学ぶ意義について理解する。
- ・データサイエンスやAIを活用する上での留意事項や情報セキュリティ、情報漏洩等、データを守る上で留意すべき事項について理解する。
- ・社会における実データを含む多くのデータから、必要とする情報を抽出するスキルを身につける。
- ・抽出結果を読み解き、それら情報の関係を分析、考察し表現できる力を身につける。

開講されている科目の構成

学部・学科・専攻		科目
家政学部・文学部・人間関係学部・比較文化学部		「コンピュータ基礎B」（2単位）と「データサイエンス・AI概論」（2単位）
社会情報学部	社会生活情報学専攻・環境情報学専攻	「情報処理実習B」（2単位）と「データサイエンス・AI概論」（2単位）
社会情報学科	情報デザイン専攻	「情報処理実習A」（2単位）と「データサイエンス・AI概論」（2単位）

修了要件

上記に示された表のとおり、所属する学部や専攻の別により、それぞれ指定された合計2科目4単位を修得することでプログラムの修了となります。

実施体制

運営責任者：情報リテラシー教育検討部会長
 プログラムを改善・進化させるための体制：情報リテラシー教育検討部会
 プログラムの自己点検・評価を行う体制：情報リテラシー教育検討部会

